

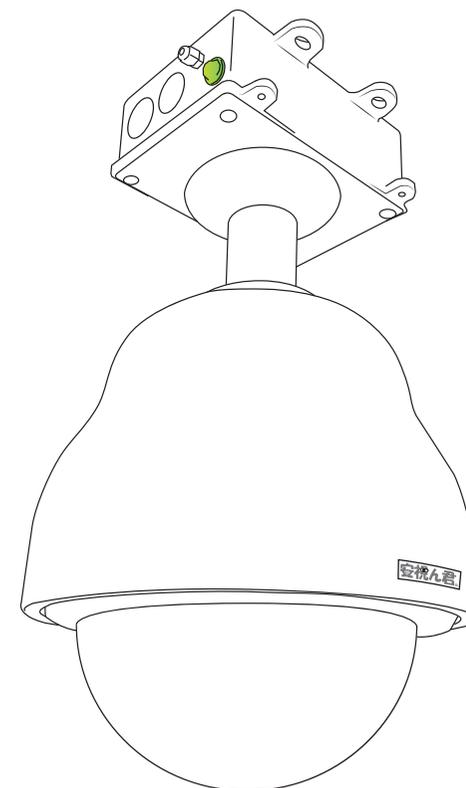
取扱説明書

録画一体型防犯用監視カメラ

安視ん君®

PROA108-CB

抜 出 方 法 別	標準型
	セパレート型
	無線 LAN 型



1. 正しくお使い頂くために必ずお守り下さい	P.3
2. 安全にお使い頂くために	P.4
3. 各部の名称	P.8
4. 施工説明	P.14
5. 電源を入れる～録画を開始する	P.20
6. データ抜き出しについて	
①SD カードを直接抜き出す (全タイプ共通)	P.24
②SD カード及び USB による抜き出し (USB 抜出: セパレート型のみ)	P.26
③無線 LAN による抜き出し (無線 LAN 型のみ)	P.29
パスワード使用時について (全タイプ共通)	P.32
7. 無線 LAN の設定について	
無線 LAN 接続設定	P.35
SD カードアクセス専用ソフト「DS-Linker」設定	P.47
8. レコーダシステムについて	
画面表示の見方	P.50
設定項目の説明	P.51
出荷時設定内容一覧	P.66
9. カメラシステムについて	
画面表示の見方	P.67
設定項目の説明	P.68
出荷時設定内容一覧	P.75
10. 基本仕様	P.76

■安視ん君® について

- ・本製品は、犯罪抑止等を意図して製作された商品です。犯罪の抑止・安全を完全に保障するものではありません。万一被害が発生した場合、当社は責任を負いかねますのでご了承下さい。
- ・本製品は、防犯設備士及び総合防犯設備士によるメンテナンス（年1回のメンテナンスや修理対応）を含有した商品です。メンテナンスサービスは各地域の取扱店にて実施いたします。
- ・「安視ん君®」は株式会社プロテックの商標です。その他の製品名等は各社の商標又は登録商標です。
- ・本製品の仕様及びデザインは予告無く変更する場合があります。



警告

本製品は、
精密光学機器及び電子機器を内蔵しております。
取扱い及び操作には、十分な配慮と注意が必要です。



雨天時の施工禁止

- 雨天や湿度の高い日の施工は行わないで下さい。感電事故や、故障の原因になります。



施工

- 取り付け工事は、予め専門の講習を受けた取扱店が実施してください。間違った工事は故障や事故の原因になります。



機器の改造の禁止

- 製品の内部を分解したり、改造や加工をしないで下さい。故障や事故の原因になります。また、その場合は保障の対象外となります。



SD カード同梱品以外の使用禁止

- SD カードは出荷時に同梱している製品以外のご遠慮下さい。予期せぬ故障の原因になります。また、その場合は保証の対象外となります。



カバーの清掃

- 雨天・降雪などによりドームカバーが汚れますと画質が低下する恐れがあります。定期的に清掃を行って下さい。

2. 安全にお使い頂くために

このマニュアルには、本製品を安全に正しくお使い頂くための重要な情報が記載されています。

複数の機種の内容が含まれています。機種によっては、掲載されている機能が搭載されていない場合があります。また、機種により説明が異なる場合は書き分けています。

お使いの機種に機能が搭載されているかは本マニュアル (P.76) の「基本仕様」をご確認下さい。

本製品を施工される前に、このマニュアルを熟読して下さい。
また、このマニュアルは、本製品設置後でもご覧になれる様大切に保管して下さい。

■安全上のご注意

本製品を安全に正しくお使い頂き、あなたや他の人々に加えられる恐れのある危害や損害を、未然に防止するための目印となるものです。その表示と意味は次の様になっています。内容をよくご理解の上、お読み下さい。

⚠警告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡又は重症を負う可能性があります
⚠注意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が障害を負う又は物的損害のみが起こる可能性があります

⚠警告

火災・感電の原因になります。

- 絶対に分解・改造をしないで下さい。
- 指定の電源電圧以外で使用しないで下さい。
- 本製品内部に水などの液体を入れないで下さい。
- 異常な臭いや音がする場合は直ちに使用を停止して下さい。

⚠注意

- アダプターを抜く際は、電源コードを引っ張らないで下さい。コードが傷つき、火災・感電の原因になります。必ずアダプター本体を持って抜き差しして下さい。
- 濡れた手で取付・調整やアダプターの抜き差しをしないで下さい。感電の原因になる事があります。

■設置環境について

- ・-10℃以上の環境であっても、風雪が激しい場所ではドーム部に付着した雪や氷を解凍できない場合があります。常時通電状態でご使用下さい。
- ・温度が-10℃～50℃、湿度80%以下(ただし結露のないこと)の場所で使用して下さい。
- ・溶剤・薬品を扱う場所に設置しないで下さい。ドームカバーなどが変形・変色します。

■施工について

- ・施工時は、画角調整やリモコン操作等で現場調整用モニターを使用します。必ず事前準備をして下さい。
- ・本製品は密閉構造の為、内部に湿気がたまりドームカバー内がくもることがあります。湿度の低いときに設置して下さい。
- ・振動の多い所には設置しないで下さい。また、本製品は車載用ではありません。車両や船舶などには設置しないで下さい。
- ・ポール取り付けの際は、ポールの強度には十分に配慮して下さい。
- ・ポール・壁面に付ける為のボルト・ナット類は付属されていません。取り付け場所の材質及び強度、総重量などを考慮し、十分な強度が得られるものを別途ご用意下さい。
- ・海上や海岸、粉塵の多い場所、腐食性ガスが発生する場所、可燃性雰囲気中などの特殊環境の場所、プールなど薬剤を使用する場所には設置しないで下さい。
- ・強力な磁界や強い電波のある場所には設置しないで下さい。映像が乱れたり、故障の原因となる事があります。

- ・本製品にぶら下がらないで下さい。
- ・指定外の電源・電圧で使用しないで下さい。故障の原因となります
- ・設置する際は、落下を防止する為に2人以上で作業を行って下さい。
- ・ドームを下向きに、鉛直に取り付けて下さい。正しく取り付けられていない場合故障の原因となります。
- ・ハウジングアダプターのケーブル引き出し部は、シリコンタイプのシール材で防水処理を行っています。隙間が空いた場合はシール材で埋めて下さい。
- ・本製品を冷気があたる場所やエアコンの吹き出し口の近くに取り付けしないで下さい。ドームカバーが曇る原因になります。
- ・ケーブルが傷つかないように設置し、張りを考慮し余裕を確保して下さい。
- ・レンズは精密部品です。レンズには触れないようにして下さい。故障の原因となります。

■使用について

- ・本製品の動作状態は、定期的にトラブルLED、録画状況でご確認下さい。
- ・レンズ面を太陽や強い照明・反射に向けないで下さい。CMOSセンサー内部の色フィルターが劣化して画像が変色することがあります。
- ・強いショックや振動を与えないで下さい。故障・破損・浸水の原因となります。
- ・内部を改造したり、異物を入れないで下さい。故障・火災・感電の原因となります。
- ・埃の多い場所や、油煙・蒸気の当たる場所には設置しないで下さい。
- ・ドームカバーに直接触れないで下さい。カバーが汚れると画質劣化の原因となります。
- ・本製品を清掃するときには、必ず電源を切ってから、乾いた布で拭いてください。

変形や変色の原因になります。

- ドームカバーを清掃するときは、柔らかい布でかるく拭いて下さい。この時砂埃が付着していると、ドームカバーに傷がつくことがあります。汚れがひどい場合は、ドームカバーを外して外側を水洗いすることをお勧めします。なお、アルコール系の洗剤を使用するとドームカバーが白濁することがありますので、使用しないでください。画質劣化の原因になります。
- レンズ面に埃がついた時は、カメラ用のブロワーやレンズクリーニングペーパーで軽く清掃して下さい。
- 本製品には冷却用ファンが内蔵されていますのでモーター音がします。モーター音が共振しない場所に設置してください。
- 本製品は CMOS センサーを採用しているため、画面の中を速く動く被写体を映した場合、画像がゆがむことがあります。
- 何らかの理由で停電があった場合、本製品は自動復旧する設定となっておりますが、必ず正しく稼働しているかどうか点検を行って下さい。
- 操作用リモコンは防犯上の理由により設置者又は管理者以外には渡さないで下さい。また施工者はむやみに第三者にリモコンを貸出・譲渡しないで下さい。

■SDカードについて

- 万一、故障した場合、録画したデータの復旧は出来ません。大切な録画の場合は、パソコンなど別の記録媒体などに保存して下さい。
- 納品時に同梱している SD カード以外には使用しないで下さい。別製品を使用した際に起きた故障等は保障対象外と

なります。

- SD カードのエラー又はその他のエラーにより、本製品が正常に録画できない場合があります。本製品の適切な運用の為、定期的なメンテナンスが必要です。
- データ抜出作業の際、録画停止をせずに SD カードを抜くと破損します。必ず、録画を停止した事を確認した後、抜き差しを行って下さい。

■無線 LAN について

- 無線 LAN では、LAN ケーブルを使用する代わりに、電波を利用してパソコン等と情報のやり取りを行う為、電波の届く範囲であれば LAN 接続が可能であるという利点があります。その反面、電波はある範囲内であれば障害物（壁など）を越えてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合、以下の様な問題が発生する可能性があります。
 - 悪意を持った第三者が不正に侵入し、無断で本製品にアクセスし、
 - 設定の変更
 - 録画データの閲覧・消去・改ざんなどの行為をされてしまう可能性があります。
- 無線 LAN のセキュリティに関する設定を行って製品を使用する事で、その問題が発生する可能性は少なくなります。必ずセキュリティに関する設定を行って下さい。
- 無線 LAN 設定は、5.6GHz を使用しています。

■マークの説明

本文中に記載されている記号には、次のような意味があります。

	お使いになる時の注意点や、してはいけない事を記述しています。必ずお読み下さい。
	操作に関する事を記述しています。必要に応じてお読み下さい。
	リモコンを表示しています。リモコンを操作します。
	パソコンを表示しています。パソコンを操作します。
	現場調整用モニターを表示しています。カメラにモニターを接続します。
	CD などのディスクを表示しています。
	以降の手順が分かれる事を表示しています。

■連続する操作の表記

本文中の操作手順において、連続する操作手順を「⇒」でつなげて記述しています。

例： (スタート) をクリックし、「すべてのプログラム」を選択、その後「アクセサリ」をクリックする操作

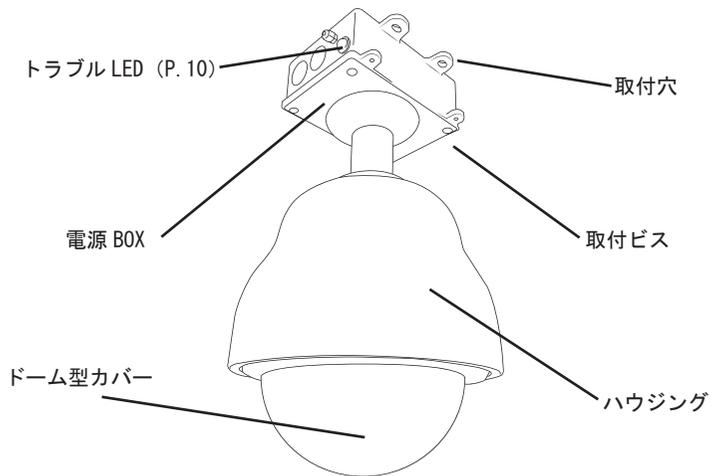
 (スタート) ⇒ 「すべてのプログラム」 ⇒ 「アクセサリ」 の順にクリックします。

■画面例及びイラストについて

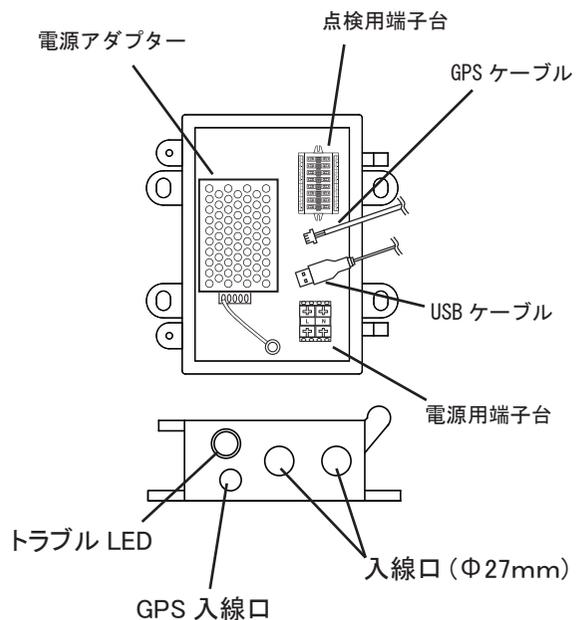
本文中の画面およびイラストは一例です。場合によって、実際の表示される画面やイラスト、及びファイル名が異なる事があります。また、イラストは説明の都合上、本来接続されているケーブル類や基盤の詳細等は省略している事があります。

3. 各部の名称

■ハウジング

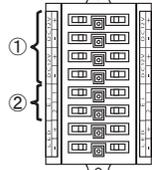


■電源 BOX 内部



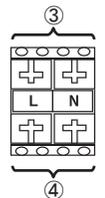
検査用端子台

- ① 弱電端子 (12V/GND)
- ② ファン&ヒーター点検用端子 (Ei1/Ei2)

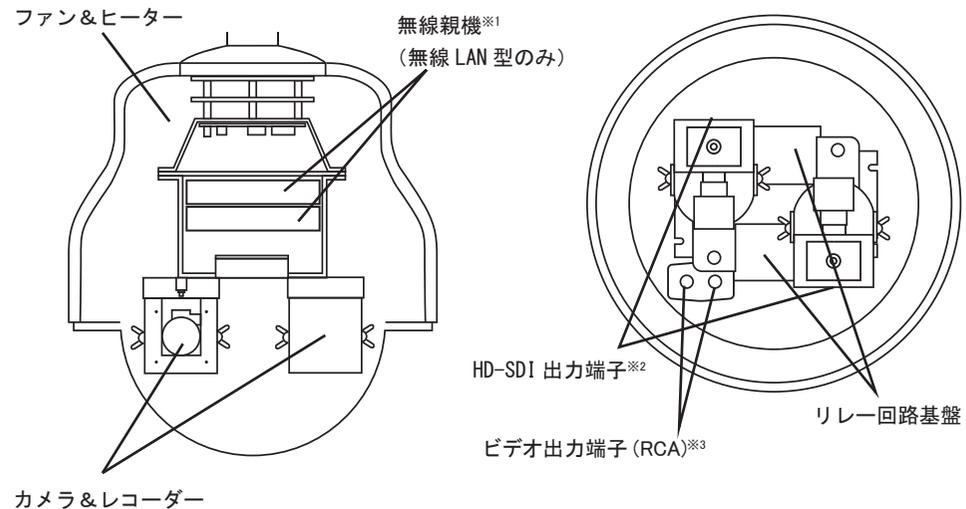


電源用端子台

- ③ 電源入力端子 (定格: AC100 ~ AC240V)
- ④ 電源出力端子

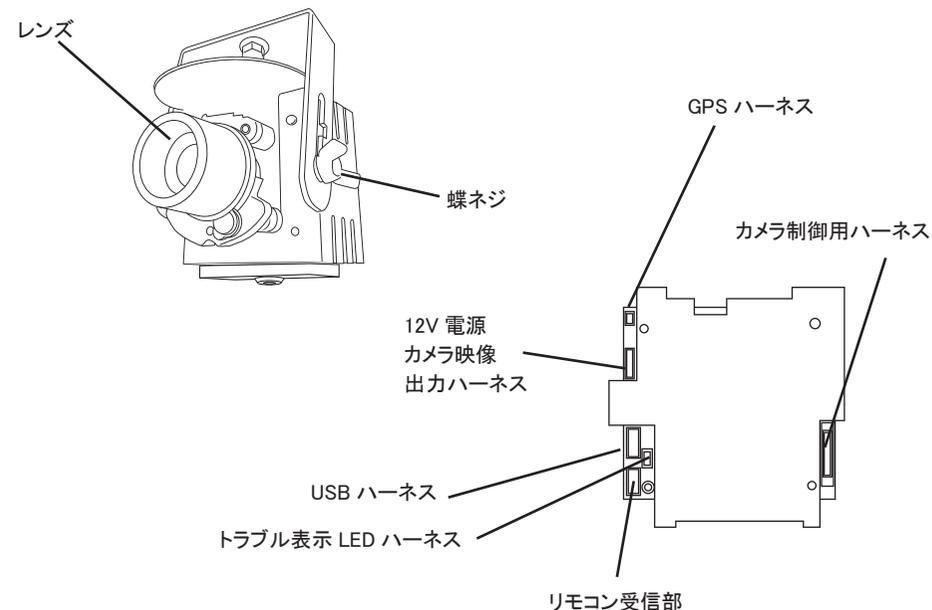


■ハウジング内部

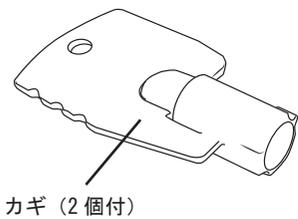


- *1...カメラシステム 1 台につき無線親機 1 台づつ必要
- *2...オプション
- *3...設置時等、現場調整用モニターに出力する際に使用します

■カメラ部



■SD カード保護板用カギ



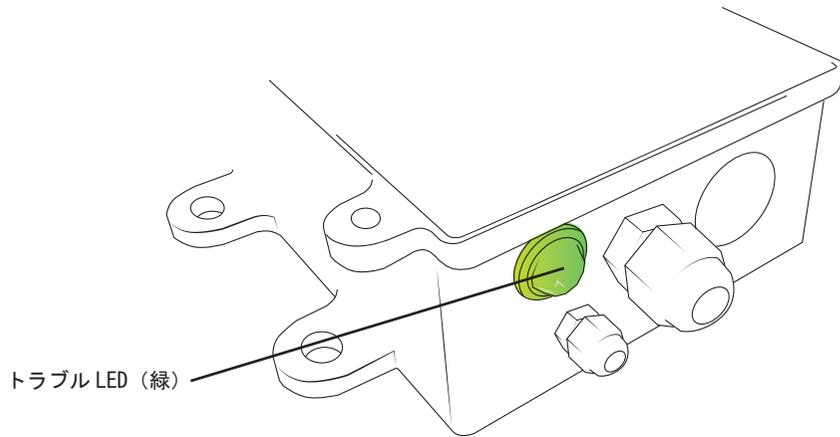
カギ (2 個付)

カギは出荷時、本体製品に同梱しています
1 物件につき 2 個同梱しています

重要

カギの紛失には充分お気をつけ下さい。
カギが 2 個以上必要な場合は、各営業担当までご相談下さい。

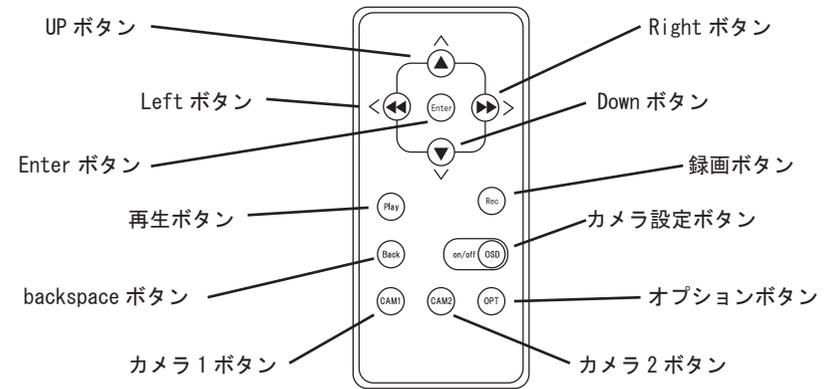
■トラブル LED



トラブル LED (緑)

名称	状態
正常に録画している	点灯
正常に GPS 信号を受信している	
正常に録画をしていない	点滅
記憶媒体 (SD カード) が未実装	
ビデオ信号がレコーダに入っていない	
メニュー画面を開いている	
10 分以上 GPS 信号が途切れている	ゆっくり点滅

■リモコン



Keylock 機能

ON

OFF

カメラ 1: → →

カメラ 2: → →

補足

カメラ 2 → →

カメラ 1 → →

電源 BOX 側 ↓

同ハウジング内にカメラが 2 つある為
キーロック解除コマンドが別々に振り
分けられています。
電源 BOX 側が「カメラ 1」
反対側が「カメラ 2」となっています。

重要

キーロック解除のコマンドは数種設定が可能です。セキュリティ上全て記載する事が出来ません。ご了承下さい。

本紙説明中に出てくる「キーロック解除 (OFF)」は、便宜上下記のコマンドで統一表記致します。

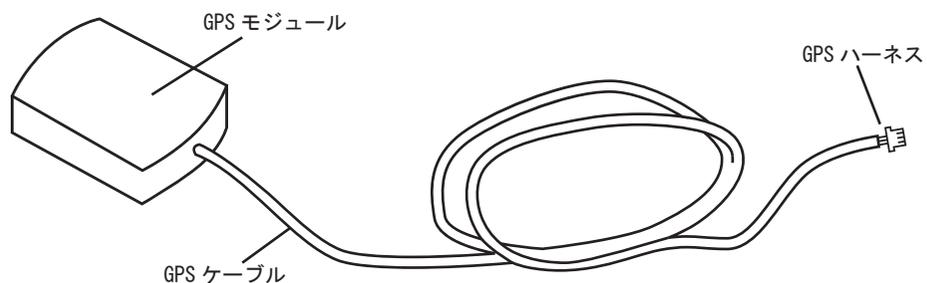
→ →

また、キーロック (R/C 同期) の操作、及び設定については P.52 を参照して下さい。

重要

リモコンの有効範囲は、約 1.5m です。

■ GPS モジュール

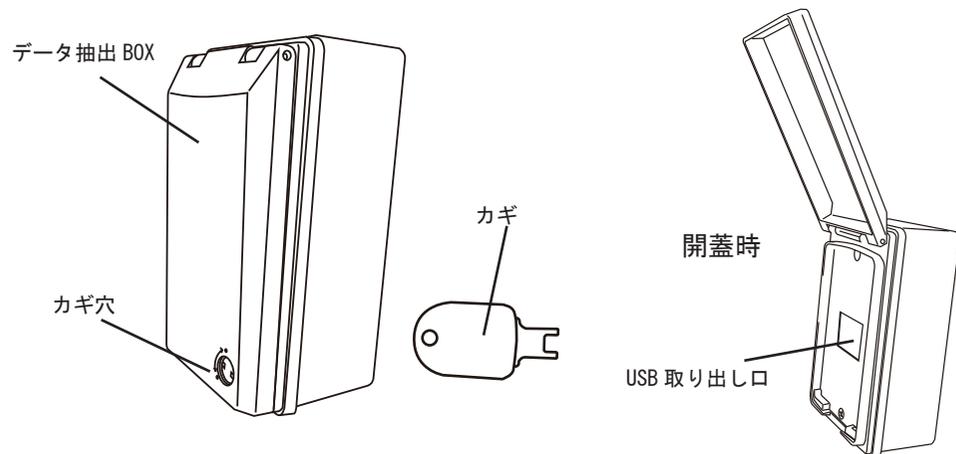


重要

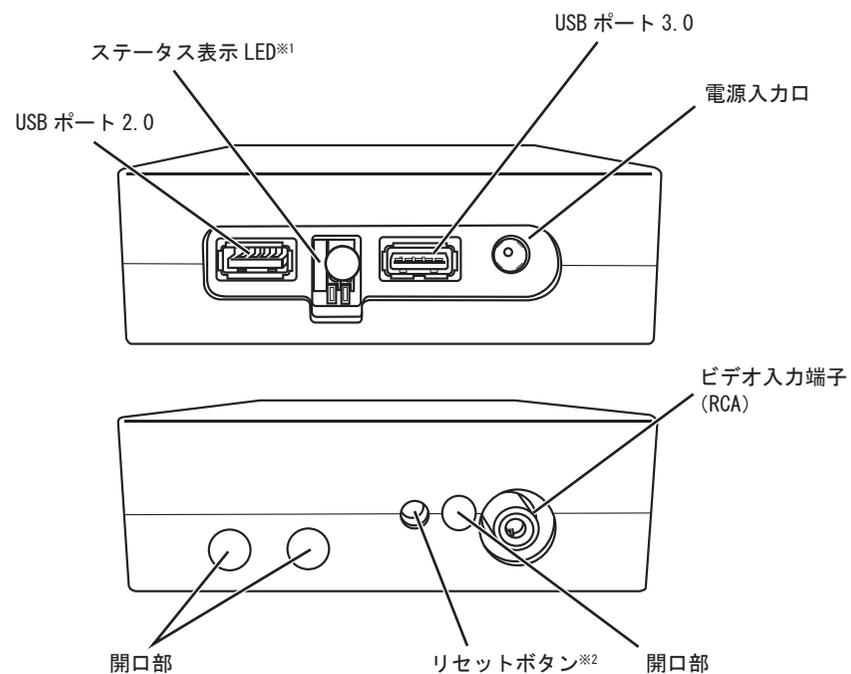
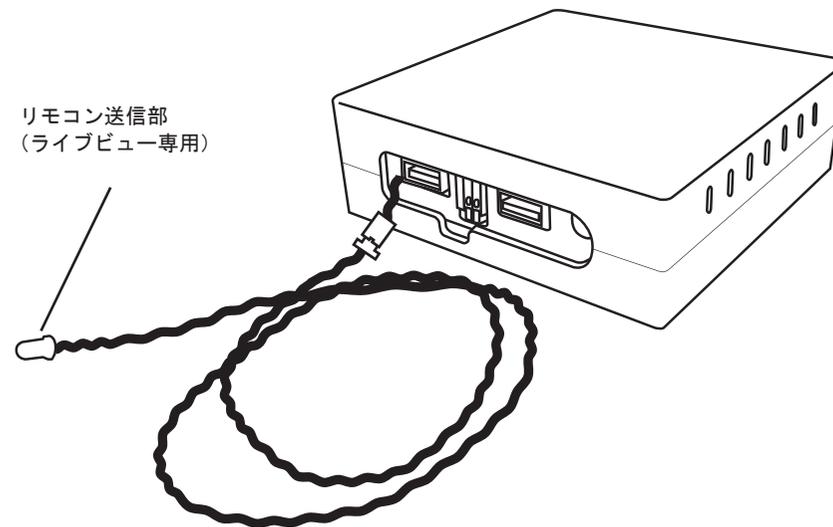
同梱品の GPS モジュールには次の様な特性があります。

GPS ハーネスを接続した状態で本体の電源を ON。GPS 信号を受信すると得た衛星情報を一時的に保持。その後、再度電源 ON にした際に事前の情報を活用して時刻補正を行います。これにより、施工前に先の準備をしておくことで、現場での作業時間短縮を図る事ができます。

■ データ抽出 BOX (セパレート型のみ)



■ ワイヤレス無線機 - 親機 (無線 LAN 型のみ)



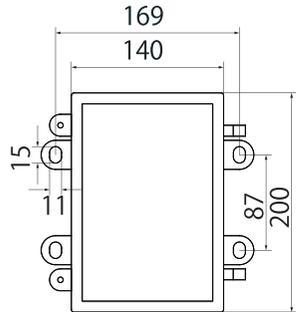
※1…表示の動きについては別冊 DST- II 取扱説明書参照

※2…長押し (3 秒程度) で設定がリセットされます。

4. 施工説明

本マニュアルに従っての施工をお願い致します。
また、複数の機種の内容が含まれておりますので、機種にあった記載をお読み下さい。

■ 本体取り付け - 寸法図



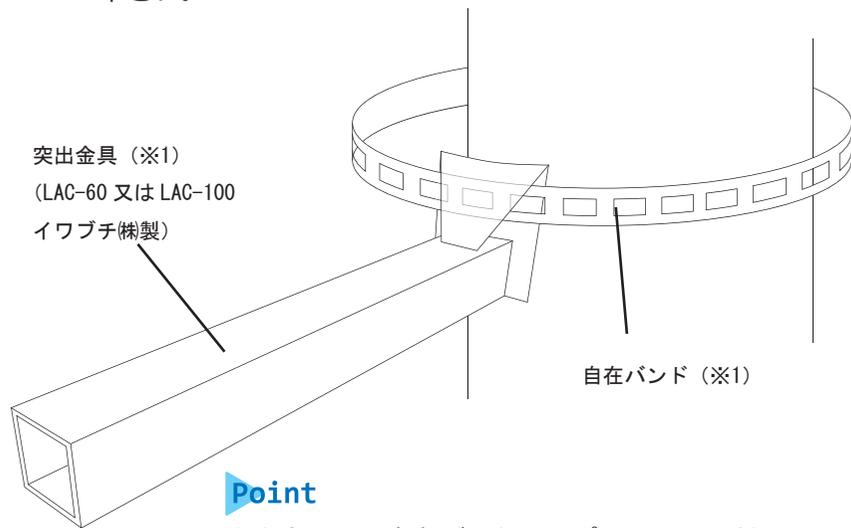
「安視ん君」壁やポール等、様々な場所に設置が可能です。
取付穴の寸法は左図の通りです。

重要

様々な設置場所が想定されますが、施工例では代表的な施工方法を紹介します。

■ 本体取り付け - 参考施工例（腕金を使用した取り付け）

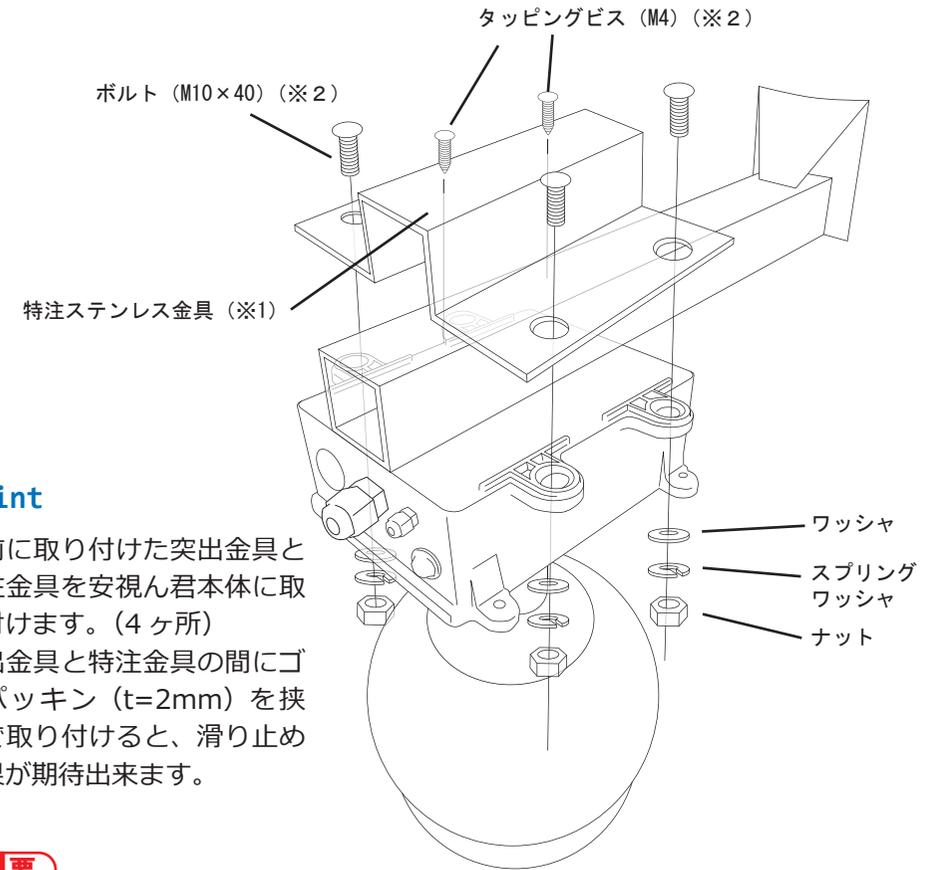
重要 本施工例は参考です。実際の取り付け状況により金具等の選定をして下さい。



Point

突出金具を、自在バンドにてポールに取り付けて下さい。
使用する自在バンドは、設置するポールに合わせて下さい。

※1…突出金具・自在バンド等は設置場所に応じて別途各社様でご用意下さい



Point

事前に取り付けた突出金具と特注金具を安視ん君本体に取り付けます。(4ヶ所)
突出金具と特注金具の間にゴムパッキン (t=2mm) を挟んで取り付けると、滑り止め効果が期待出来ます。

重要

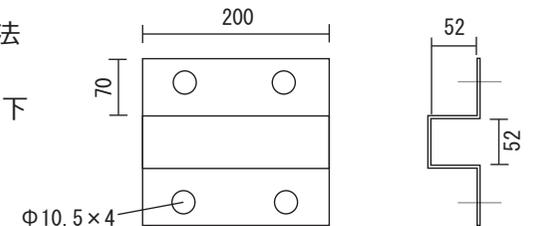
設置後、電源 BOX・取り付け金具が水平になっているかを必ずチェックして下さい。正しく水平を確保出来ない場合、画角調整時など正確に行う事が困難になります。

又、取り付け金具は上下共に左右を揃えて取り付けして下さい。

補足

特注ステンレス金具寸法

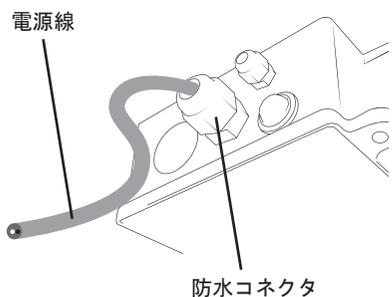
製作の際は参考にして下さい。



※1…特注金具は使用する突出金具に合わせて別途各社様でご用意下さい

※2…ボルト・ビス等のサイズは一例です サイズ・長さは設置状況に合わせてご用意下さい

■本体取り付け - 結線について



Point

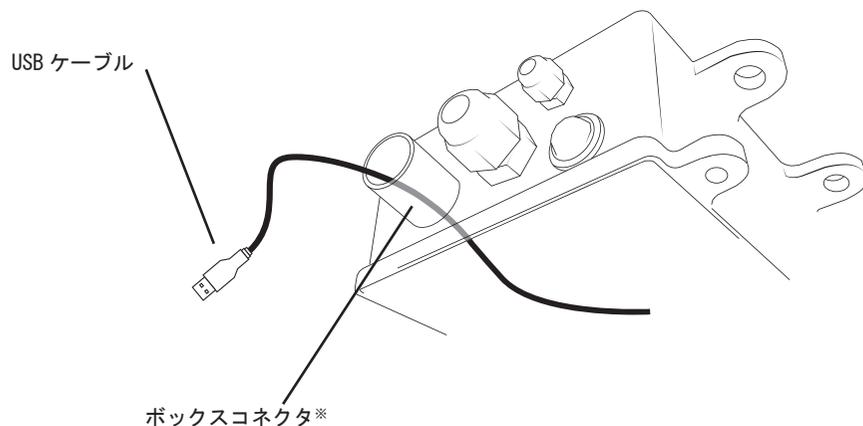
電源 BOX 下部、防水コネクタより出ている電源線を電源に接続して下さい。

電源線の先端は未処理で出荷しています。接続部の防水・絶縁処理を適切に行ってください。

重要

- ・コネクタを締めた状態で電源線を引っ張らないで下さい。
- ・コネクタは最後まで締めて下さい。浸水の原因となります。

■データ抜出用 USB について (セパレート型のみ)

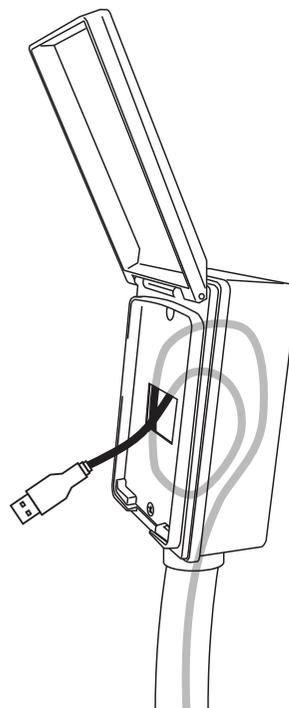


Point

入線口よりカメラ部から USB ケーブルを引き出す。
その後、入線口を PF 管又はその他配管材を使用し防水対策を行ってください。
又、配管材を用いない場合はパテ等を使用し防水対策を行ってください。

※…ボックスコネクタは別途各社様でご用意下さい

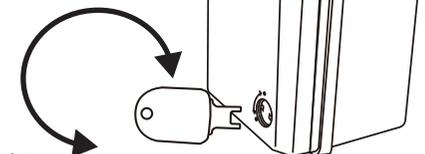
■データ抽出 BOX 取り付け (セパレート型のみ)



Point

安視ん君に付属されている USB ケーブルを配線 BOX から配管を通り、データ抽出 BOX へ通します。

施錠 (右に回す)



解錠 (左に回す)

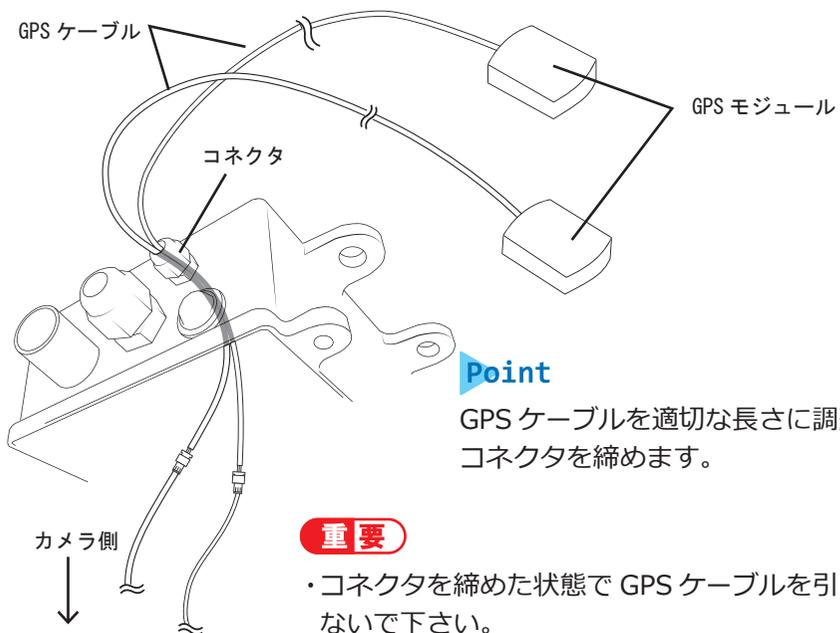
Point

使用時 / 後は、付属のカギを使用し、解錠 / 施錠を行ってください。
開蓋後、USB ケーブルを引き出し、パソコンに接続して使用して下さい。

重要

- ・カギの管理にはご注意ください。
- ・USB 端子には必ずキャップをして下さい。
- ・端子が錆びる原因となります。
- ・USB ケーブルはデータ抽出 BOX へ適切に収納して下さい。折り曲げたり、ケーブル同士が絡まると、ケーブルが断線する恐れがあります。

■ GPS 取り付け

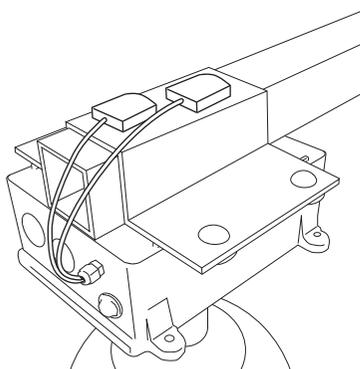


Point

GPS ケーブルを適切な長さに調整し、コネクタを締めます。

重要

- コネクタを締めた状態で GPS ケーブルを引っ張らないで下さい。
- コネクタは最後まで締めて下さい。浸水の原因となります。



(例) カメラ上部

Point

GPS モジュールは電源 BOX の上面、若しくは側面にシリコンコーキング*にて固定します。

重要

安視ん君を壁面設置し、設置場所上部に屋根等がある場合、GPS 電波を正常に受信しない場合があります。

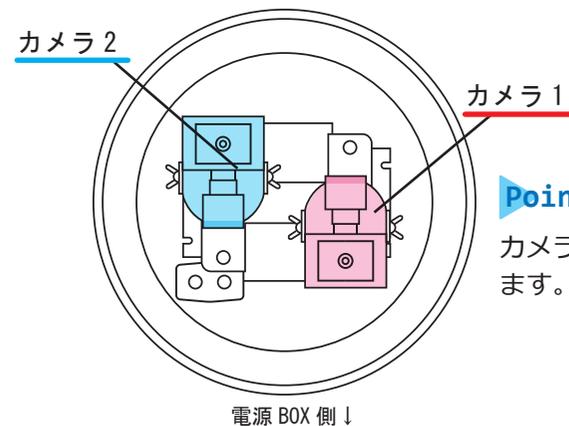
その場合は、GPS モジュールを電源 BOX ではなく、壁面等電波を受信出来る場所に設置して下さい。

重要

GPS 電波を受信しない場合、最大約 3 分 / 年の時間のズレが生じます

※…付属品としてシリコンコーキングは含まれておりません

■ 2方向カメラの向き

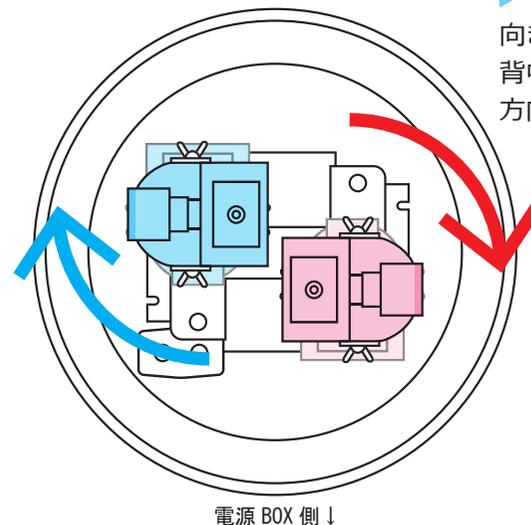


Point

カメラの向きを各々変更する事が出来ます。

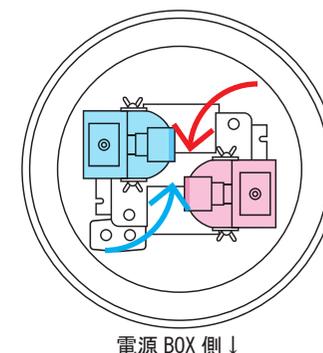
Point

向きを変える際は、外転させて下さい。背中合わせにする事で、180度反対方向を撮影する事が可能です。



重要

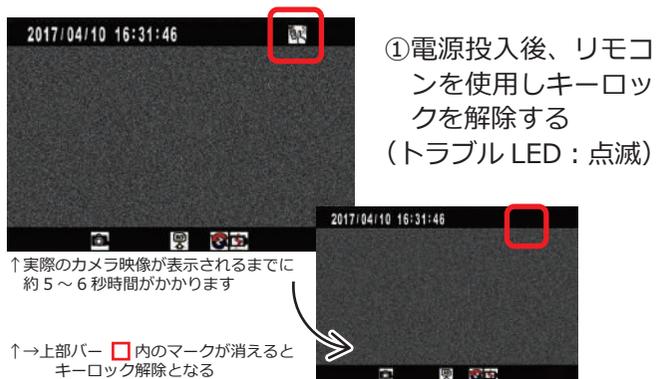
内転させた場合、カメラ背部がハウジングの淵に当たり、ドーム型カバーが閉まらなくなります。回転方向に注意して下さい。



電源 BOX 側 ↓

5. 電源を入れる～録画を開始する

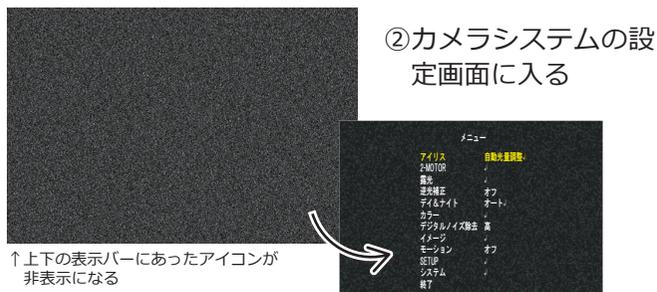
重要 この項目は、現場調整用モニターを接続し、作業を行います。接続する場所は P.9 をご確認ください。



①電源投入後、リモコンを使用しキーロックを解除する
(トラブルLED：点滅)

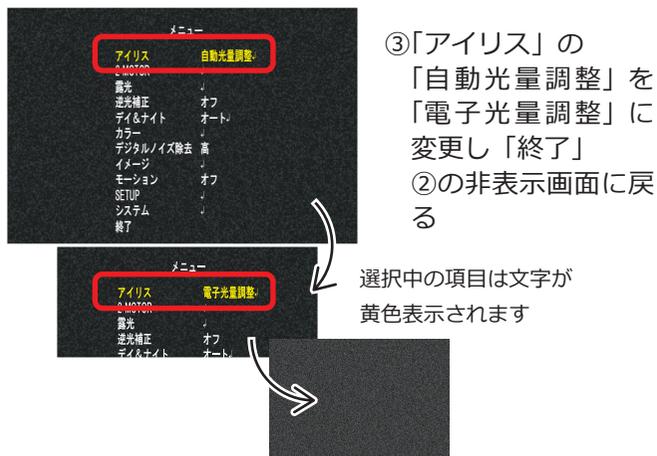
キーロック解除
OPT → ▲ → CAM1
⇒ アイコン非表示

【PROA108-CA・CBのみ】
2台目カメラのキーロック解除
OPT → ▲ → CAM2



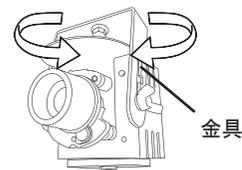
②カメラシステムの設定画面に入る

OSD キー
⇒録画表示バーが消える
⇒ Enter キー
⇒表示が切り替わる



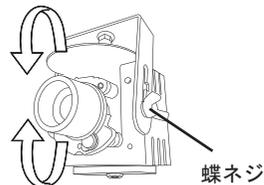
「アイリス」が黄色表示されている事を確認して
⇒ ▶ キー 1回
⇒表示が「電子光量調整」に変わる
⇒ ▼ キー 11回
⇒「終了」を選択し
Enter キー

④画角の調整を行う



Point

○パン
カメラを固定している金具を左右に振る事で、調整が可能です。

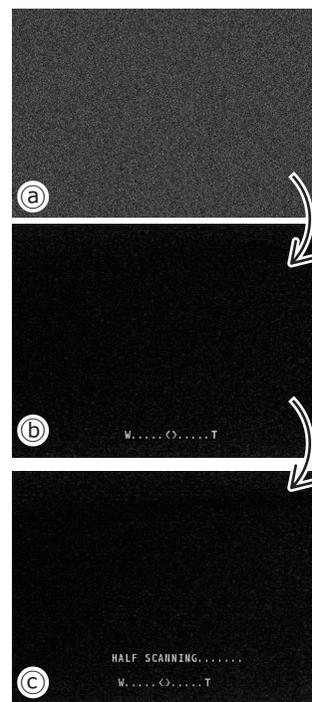


Point

○チルト
蝶ネジを緩め、カメラを上下に振る事で、調整が可能です。

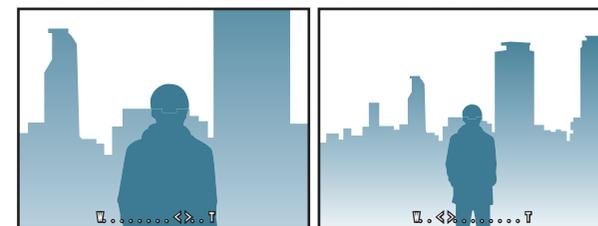
重要 画角調整時は、直接レンズを持って調整しないで下さい。調整後は、必ず蝶ネジをしっかり締めて下さい。故障の原因になります。

⑤ピント・ズームの調整を行う



Point

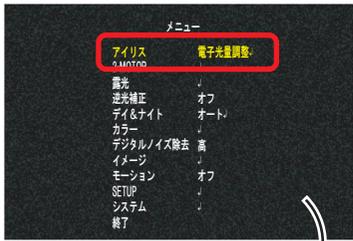
① OSD キーで録画表示バーを消す
② ▲ ▼ キーで表示したいポイントに合わせる
③ キーを放すと自動的にピント調整を開始、しばらく待つ
④ ②の画面に戻るとピント調整が終了する



ズーム：▲キー長押し ワイド：▼キー長押し

重要

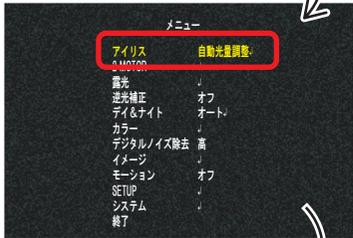
・画角調整時は、リモコンで調整を行います。直接レンズを持って調整しないで下さい。
・画角内に想定外の障害物・調整者の指等が映り込んだ場合、先にピントを合わせてしまう可能性があります。



⑥「アイリス」の「電子光量調整」を「自動光量調整」に戻す

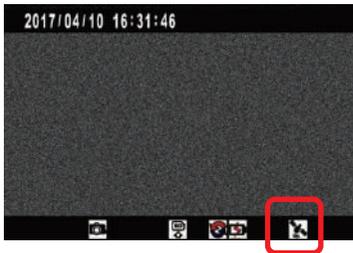
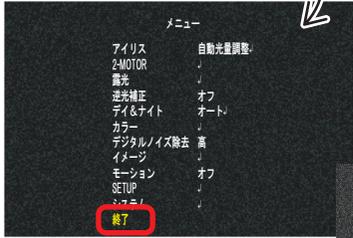
「アイリス」が黄色表示されている事を確認して
⇒◀キー 1回
⇒表示が「自動光量調整」に変わる

選択中の項目は文字が黄色表示されます



⑦カメラ設定を終了し、通常の画面に戻る

▼キー 9回
⇒「終了」を選択
⇒Enterキー
⇒カメラシステムを終了する



⑧GPS マークが点灯している事を確認する (トラブルLED:点滅)

OSD キー
⇒録画表示バーを表示
⇒□内のGPSマークが点灯している事を確認する

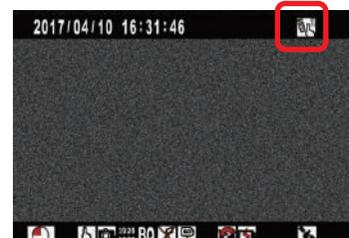


⑧録画を開始する (トラブルLED:点灯)

Rec キー
⇒録画開始



⑨録画が開始された事を□内の録画アイコンで確認する (トラブルLED:点灯)



⑩キーロックを施錠する

OPT キー
⇒手アイコン表示
⇒キーロック施錠

■パスワード及びキーロックコマンドの変更について

参照 → P.63

セキュリティを高める為、パスワード及びキーロックコマンドは初期設定のまま使用しないで下さい。パスワードは第三者が安易に推測出来る物は避けて下さい。変更したパスワード・キーロックコマンドは設置者又は管理者が大切に保管して下さい。万が一紛失・漏洩した場合、当社は責任を負いかねます。

設定変更日: 0000年00月00日
パスワード: 00000000
キーロック: (OPT) + □ + CAM

点灯: GPS 正常受信状態 点滅: GPS 接続中 (受信準備中)

×: GPS 非受信状態

補足

出荷時に適切な設定を行っております。本頁記載の操作以外は特に設定を変更する必要はありません。但し、個別に設定変更が必要な場合に限り、本紙の各項目の説明を熟読し設定を変更して下さい。又、変更により不具合が生じた場合は、各項目の「出荷時設定内容」に戻して下さい。

6. データ抜き出しについて

この項では、データの抜き出し方法について説明しています。使用する前にこのマニュアルをご確認ください。

また、複数の機種の内容が含まれています。お使いの機種に合わせてご確認ください。

①SD カードを直接抜き出す (全タイプ共通)

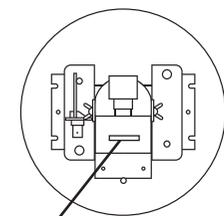
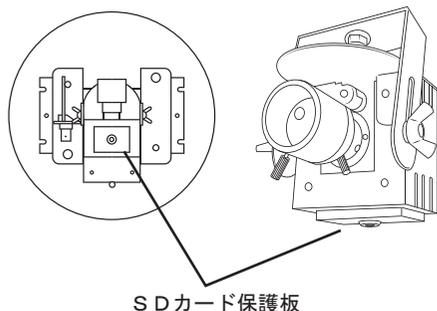
重要

データ抜き出し作業では、リモコン操作の為必ず現場調整用モニターを使用します。必ず事前準備をして下さい。接続する場所はビデオ出力端子 (RCA) です。(P.9 参照)

Point



- ① リモコンを使用しキーロックを解除
(OPT) → (▲) → (CAM1)
⇒録画停止 (Back)



Point

- ② 同梱の専用鍵で開け、保護板を外す
⇒SD カードを取出す
⇒データ拔出方法②参照
⇒SD カード差込口に戻す
⇒保護板を戻し施錠する

→次頁へ



- ③ データ拔出作業後は、録画を再開し通常運用に戻します。
次の手順で再開して下さい。

Point

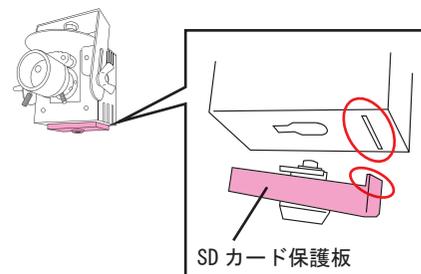


- ⑦ 現場調整用モニターを接続
- ⑧ キーロックを解除
(OPT) → (▲) → (CAM1)
- ⑨ (Rec) キーで録画開始
- ⑩ 録画が開始された事を○内の□アイコンで確認
- ⑪ 電源 BOX 底部のトラブル LED が「点滅」から「点灯」に切り替わった事を確認

⇒終了

重要

正しく録画を再開し、トラブル LED が点灯した事を確認出来るまで、その場を離れないで下さい。
また、トラブル LED の動きに関しては、P.10 の表をご確認ください。



重要

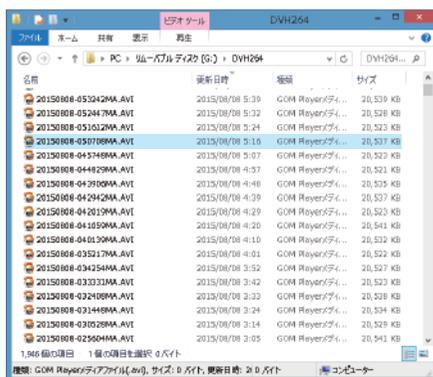
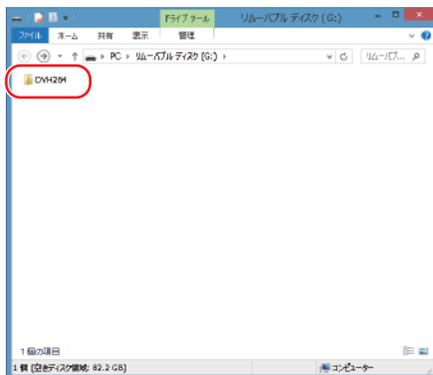
鍵で開けた後は SD カード保護板は真っ直ぐ外して下さい。斜めに外そうとすると○の部分に変形する恐れがあります。又、はめる際は保護板の○部分をカメラ部の穴に合わせて入れて下さい。SD カード保護板の故障の原因に成り得ます。

②SD カード及び USB による抜き出し (USB 拔出: セパレート型のみ)

リムーバブル ディスク (G:)

リムーバブルドライブに対して行う操作を選んでください。

-  バックアップ用にこのドライブを構成
ファイル履歴
-  写真と動画をインポート
Dropbox
-  フォルダを開いてファイルを表示
エクスプローラー
-  何もしない



①-1 で取出した SD カード又は安視ん君
(データ抽出 BOX) 内の USB ケーブルを
パソコンに接続

⇒左図「フォルダを開いてファイル
を表示する」
⇒「OK」をクリック

※お使いのパソコンによっては、表示が異なる
又は表示が無い場合があります



「DVH264」を開く

※表示されない場合
PC⇒リムーバブルディスク⇒DVH264

「DVH264」内に録画データが保存され
ています。



PC のファイル閲覧設定を「詳細」に変
更し「更新日時」で昇降順を並び替え
る事で、より簡単に目的のデータを探
しだせます。

→次頁へ



「タスクバー」

⇒「ハードウェアの安全な取り外し」
右クリック

⇒取り出すデバイスを選択

⇒「停止」をクリック

⇒「OK」をクリック

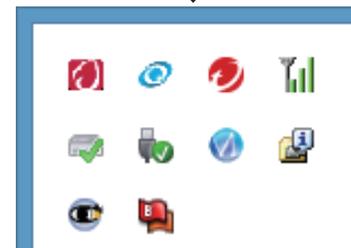
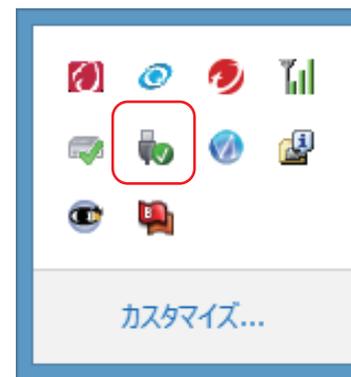
⇒デバイスが取り出せた事を確認し、
SD カード及び USB ケーブルを取り外す

⇒USB ケーブルをデータ抽出 BOX へ適切に戻
す (参照 P.12・18)

⇒施錠

⇒終了

→ SD カードの場合
参照 P.24・25



補
足

- ・フォルダ内への書き込み / 削除は出来ません
- ・録画中に USB を接続しても録画は停止しません

重要

SD カード及び USB の取り外しについて

アクセス中に無理やり取り出すと、SD カード内のデータが消える可能性があります。又、SD カードの故障の原因にもなります。

重要

データ抽出 BOX と USB ケーブルについて

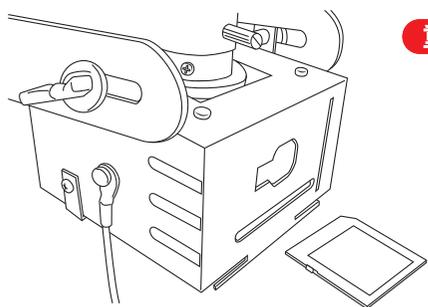
- ・カギの管理にはご注意ください。
- ・USB 端子には必ずキャップをして下さい。端子が錆びる原因となります。
- ・USBケーブルはデータ抽出BOXへ適切に収納して下さい。折り曲げたり、ケーブル同士が絡まると、ケーブルが断線する恐れがあります。

■SDカードについて

同梱のSDカードは、本製品の「SDカード差込口」に挿した状態で出荷しています。

基本的に同梱のSDカードを使用して下さい。

この頁では、SDカードの取り扱いについて説明しています。

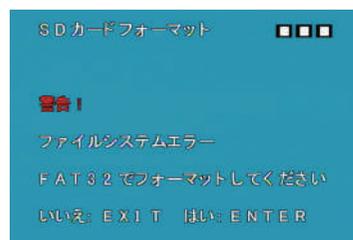


重要 以下の行為はSDカードの故障の原因に成り得ます。

- ・録画停止をせず、抜き出す
- ・無理やり抜き出す
- ・露出した端子部を素手又は濡れた手袋で触る
- ・静電気を帯びた状態で扱う

Point 抜き出す際は、SDカードを軽く押し込んだあと、手を離します。SDカードが少し飛び出てきますので、ゆっくりと水平に引き抜いて下さい。戻す際は、ゆっくりと水平に差込み軽く押し込んで下さい。

フォーマットについて



Point

本製品同梱のSDカード以外を差込むと自動的にフォーマットを促すエラーが表示されます。(左図)

Enter キーを押すとフォーマットを開始します。

重要 同梱のSDカードおよび弊社より出荷した追加SDカード*は全てフォーマット済みです。フォーマットが必要な場合は、必ず本製品でフォーマットして下さい。パソコン等、本製品以外の機器でフォーマットすると使用出来ません。又、その際不具合が生じた場合は保証の対象外となります。

*…別売り

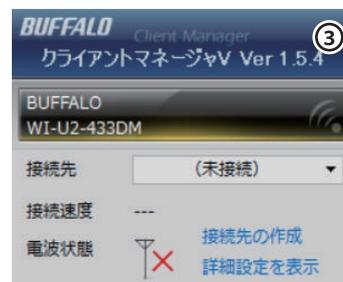
③無線LANによる抜き出し (無線LAN型のみ)



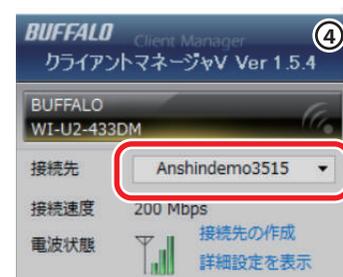
←デスクトップに予めショートカットを設定していた場合は、左図のアイコンが目印です

Point

- ①パソコンに無線子機*1を挿す
- ②  ⇒プログラム
⇒BUFFALO
⇒「エアステーションユーティリティ」
⇒「クライアントマネージャV」をクリック
⇒起動



③左図の画面が表示される



④  部にカーソルを合わせ接続先*2を選択

→次頁へ

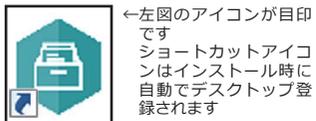
重要

接続先の設定について

パソコンで予め設定する必要があります。P.42「②無線LAN-子機 接続設定」をご確認下さい。

*1…同梱物として出荷しています。物件毎に個数が異なります。

*2…機種によって「接続先」の名称が異なります。必ずしも④図と同じ名称ではありませんのでご注意ください。

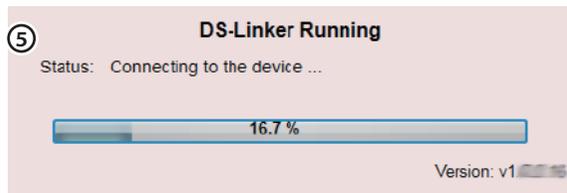


←左図のアイコンが目印です
ショートカットアイコンはインストール時に自動でデスクトップ登録されます



⑤「DS-Linker」を起動する

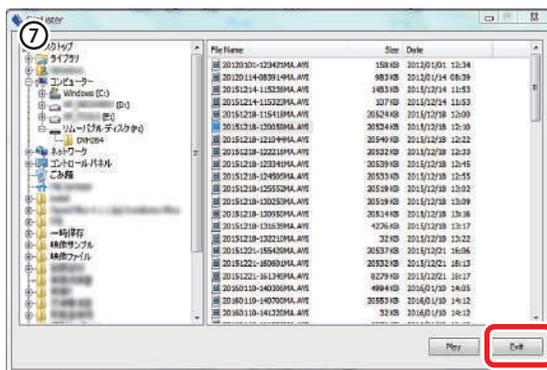
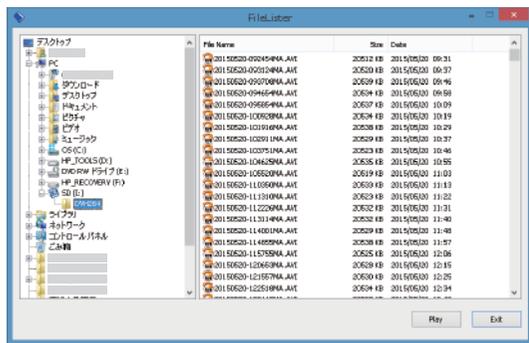
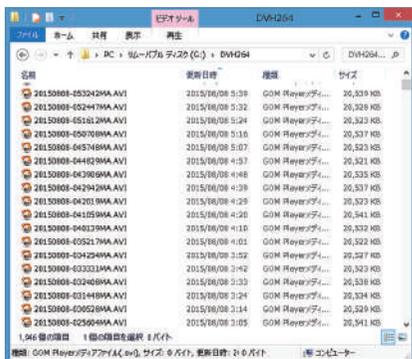
⇒読み込みを開始



⑥読み込み終了時自動的に下記フォルダが開く

「DVH264」（録画データ一覧）

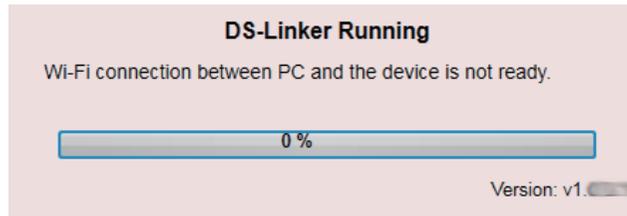
「FileLister」（P.32）



⑦終了時は FileLister 部「Exit」をクリック

⇒終了

補足



「DS-Linker」は①～④の作業を行った後に使用するソフトです。未接続のままでは、アイコンをクリックしても上図のエラーメッセージが表示され、フォルダや FileLister は起動しません。又、抜出したデータを持ち帰った後、その映像を再生する際は使用しません。

重要

SD カードアクセス専用ソフト「DS-Linker」の設定について
パソコンで予め設定する必要があります。
P.47「DS-Linker」をご確認下さい。

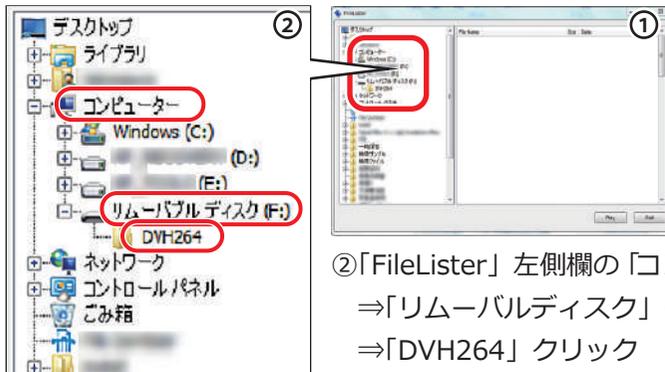
パスワード使用時について（全タイプ共通）

パスワード機能は、録画した映像データを安易に第三者が閲覧出来ない様保護する機能です。

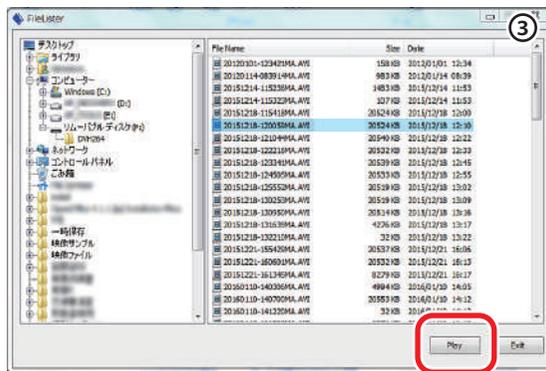
その為、映像データ再生時には専用解除ソフト「FileLister」を使用しパスワードを入力 / 解除する必要があります。適切な手順で行わない限り、映像データを閲覧する事は出来ません。ご注意ください。

パスワードを使用し保護する設定を行った場合のみ、必要になります。パスワード設定方法については「レコーダーシステムについて」⇒「電源オン設定」(P.63)の「パスワード」を参照して下さい。

「DST-II」が接続されていない場合はP.33『DST-IIが接続されていない場合の操作』をご覧ください。



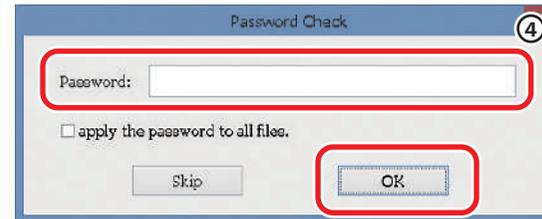
②「FileLister」左側欄の「コンピューター」クリック
⇒「リムーバブルディスク」クリック
⇒「DVH264」クリック



③「FileLister」右側欄にデータリストが表示
⇒該当するファイルを選択※1
⇒「Play」クリック

※1…一度に複数選択可能

※2…推奨：Windows Media Player 再生ソフトの操作についてはお使いのソフトの取扱説明書をご確認ください



「Apply the password to all files.」にチェックを入れると、同じパスワードを使用するデータに限り入力の手間が省けます。正し、「FileLister」を終了又は間違ったパスワードを入力した場合は、改めて入力する必要があります。

④「Password Check」が表示
⇒「Password」欄に4桁又は8桁の数字を入力
⇒「OK」クリック
⇒正しいPasswordが入力されると自動的にパソコン側で設定した映像再生ソフト※2が起動・再生

映像データの保存について

「FileLister」から映像データを保存する事は出来ません。

エクスプローラーから保存したい媒体に直接ドラッグアンドドロップして下さい。

DST-IIが接続されていない場合の操作

パスワード解除ソフト「FileLister」を準備する



- ①パソコンに付属のCDをセット
- ②CD⇒「パスワード解除ソフト」
⇒「FileLister.exe」アイコンを
デスクトップにドラッグ&ドロップ
- ③デスクトップに「FileLister.exe」アイコンが設置される
- ④CDを取出す

ご利用のPC環境によって次の2種で使用アプリが異なりますのでご注意ください。

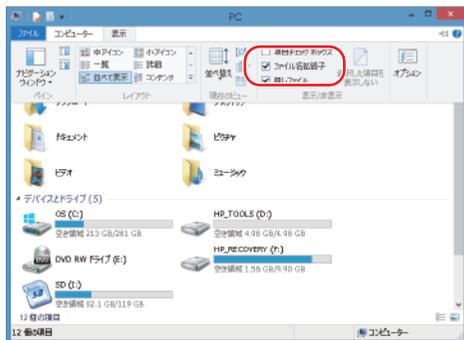
・32bit版PC⇒ファイル名「FileLister32_0506.exe」

・64bit版PC⇒ファイル名「FileLister64_0506.exe」

重要 同梱されたCDは、設置者又は管理者大切に保管して下さい

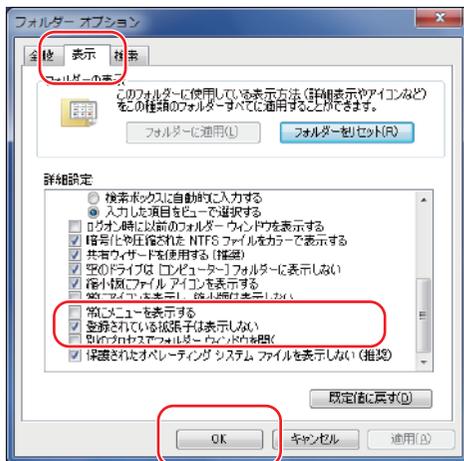
パソコン側の設定について

「FileLister」を正しく動作させる為にはパソコン側の設定が必要です。予め拡張子を表示する設定を行います。以後の説明に従い設定を行って下さい。



Point

フォルダ（内容不問）を開く
⇒タブ「表示」
⇒「ファイル名拡張子」のチェックを入れる
(Windows 8)



Point

「スタートメニュー」
⇒「コントロールパネル」
⇒「フォルダーオプション」クリック
⇒タブ「表示」
⇒「詳細設定」の「登録されている拡張子は表示しない」のチェックを外す
⇒「OK」クリック
(Windows 7)

7. 無線LANの設定について（無線LAN型のみ）

■無線LAN接続設定

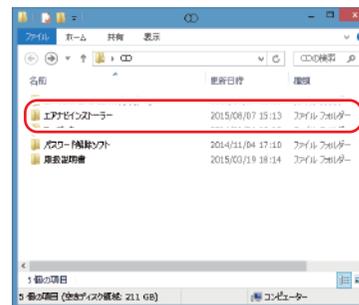
無線LANによる映像データ抽出しについて、予めパソコン側の設定が必要になります。以降の説明に従い、必要なアプリケーションをインストールして下さい。

- ①無線LAN接続アプリケーション インストール・・・P.35
- ②無線LAN-子機の設定・・・P.42
- ③無線LAN-子機 IPアドレスの設定・・・P.45

設定説明に関しては、都合上 Windows8 をベースに記載してあります。その為お使いパソコンによっては、名称や画面表示等が若干異なる場合があります。又、パソコンの操作方法に関して不明な点がある場合は、利用しているパソコンの各メーカーにお問い合わせ下さい。パソコン自体の操作方法については、当社のサポート外とさせていただきますので、予めご了承下さい。

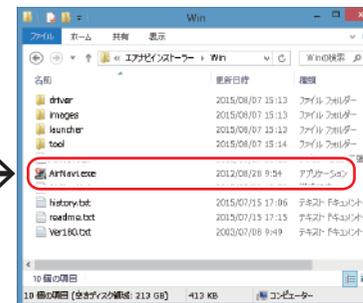
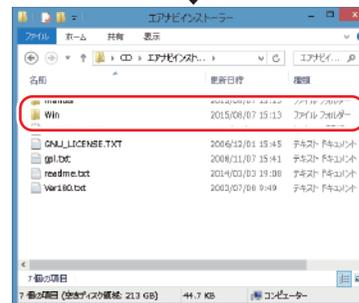
①無線LAN接続アプリケーション インストール

運用時使用するパソコンに、無線LAN接続の為のアプリケーションをインストールします。



Point

- ①パソコンに付属のCDをセット
- ②左図に従い
「エアナビインストーラー」
⇒「Win」⇒「 AirNavi.exe」クリック
- ③設定インストーラーが起動



→次頁へ

④ 次の通りに操作をします。

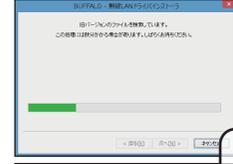
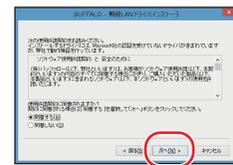
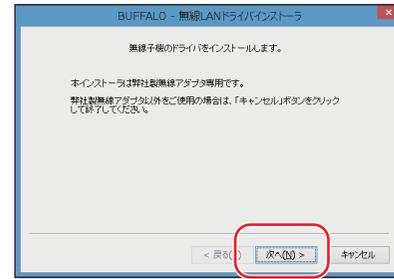


→次頁へ

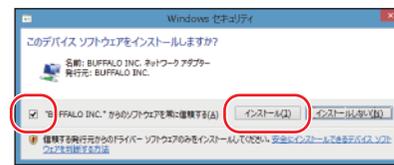
「かんたんスタート」⇒「次へ」
 ⇒「無線でつなぐ」
 ⇒「エアステーション無線子機を
 取り付ける」
 ⇒「CardBus用 /USB用 /
 PCIパス用 /ExpressCard用」
 ⇒「次へ」
 ⇒「インストール開始」クリック

⑤ 「エアステーション無線子機ドライバー」をインストールします。

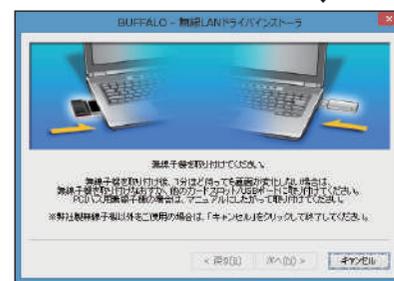
次の通りに操作をします。



PC 環境によっては
 インストールに時間が
 かかる場合があります



※同表記が 5 回程度表示されます。

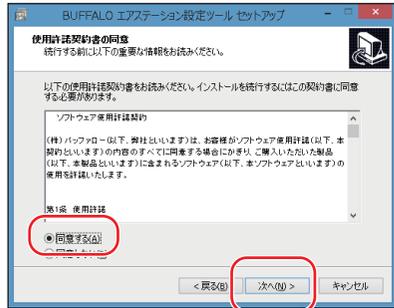
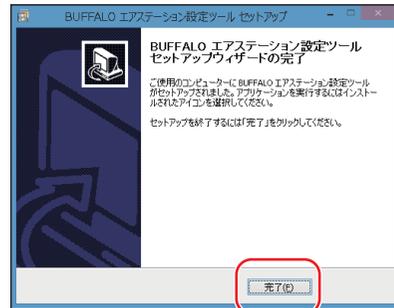


→次頁へ

重要
 このドライバーは必ずインストール
 して下さい。子機が使用出来ません。

⑥「エアステーション設定ツール」をインストールします。

次の通りに操作をします。



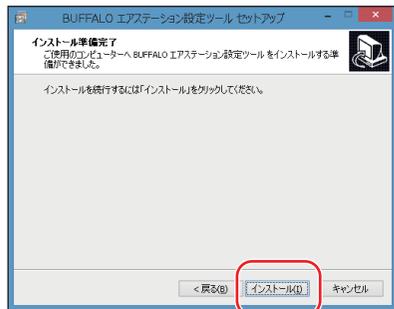
画面指示に従い「次へ」をクリック
⇒インストールスタート

⇒「同意する」に
チェックを入れる
⇒「次へ」をクリック

⇒インストール準備が完了
⇒「インストール」をクリック

⇒インストール完了後
「完了」をクリック

→次頁へ

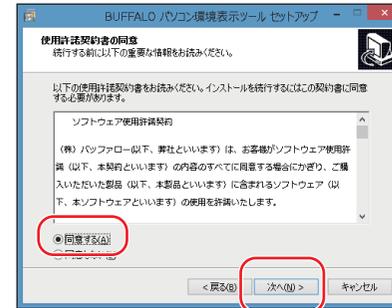


重要

このアプリケーションはインストールして下さい。設定の際、使用する事があります。

⑦「パソコン環境表示ツール」をインストールします。

次の通りに操作をします。



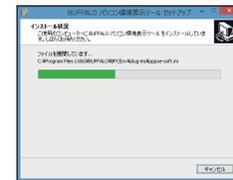
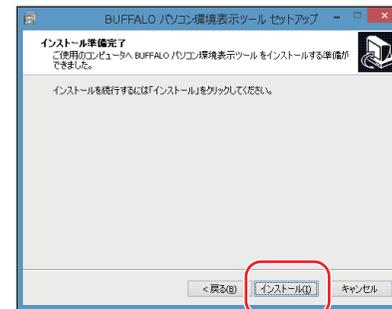
画面指示に従い「次へ」をクリック
⇒インストールスタート

⇒「同意する」に
チェックを入れる
⇒「次へ」をクリック

⇒インストール準備が完了
⇒「インストール」をクリック

⇒インストール完了後
「完了」をクリック

→次頁へ



重要

このアプリケーションは必要ありません。ご入用の場合のみ、インストールして下さい。

⑧「クライアントマネージャ V」をインストールします。

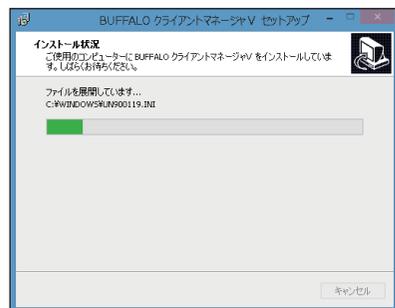
次の通りに操作をします。



画面指示に従い「次へ」をクリック
⇒インストールスタート

⇒インストール完了後
「完了」をクリック

→次頁へ



重要

このアプリケーションは必ずインストールして下さい。安視ん君と無線接続が出来ません。

インストール後、使用します。P.42

⑨「らくらくアップデートツール」をインストールします。

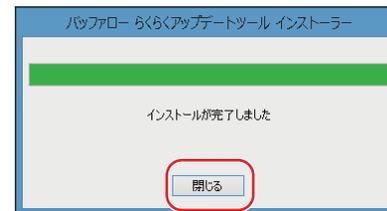
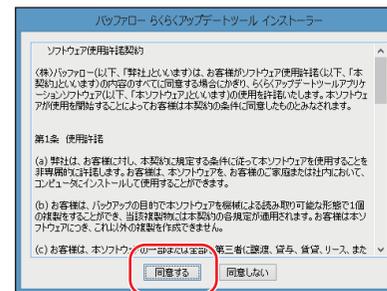
次の通りに操作をします。

画面指示に従い「同意する」をクリック
⇒インストールスタート

⇒インストール完了後
「閉じる」をクリック

重要

このアプリケーションは必要ありません。ご入用の場合のみ、インストールして下さい。



⑩全てのインストールが終了しました。

画面指示に従い「次へ」をクリック

⇒「x」をクリック

⇒終了する



②無線 LAN- 子機 接続設定

必要なアプリケーションのインストールが終了しましたら、次に子機の設定を行います。
同梱の無線 LAN 子機をパソコンに接続し、以降の説明に従い設定していきます。



Point

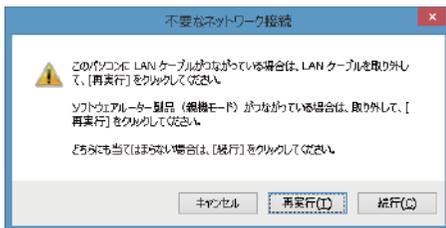
- ①パソコンに無線子機を挿す
- ②  ⇒プログラム
⇒BUFFALO
⇒「エアステーションユーティリティ」
⇒「クライアントマネージャー V」
クリック⇒起動
- ③今お使いの型番である事を確認
- ④「接続先の作成」クリック
- ⑤左図に従って「」クリック

→次頁へ

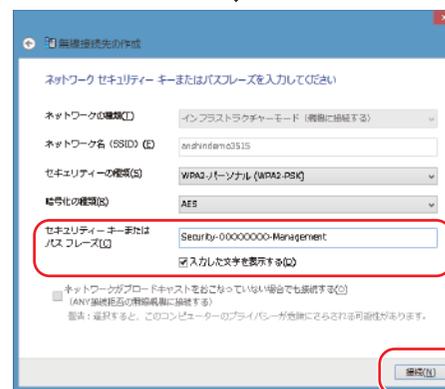


重要

下図の表示が出た場合は、他の無線 LAN が接続されている事を表します。



「安視ん君」を接続する際は、必ず他の無線を切断して下さい。
正しく使用することが出来ない可能性があります。



→次頁へ

⑥「無線接続先の作成」が表示
⇒「」クリック

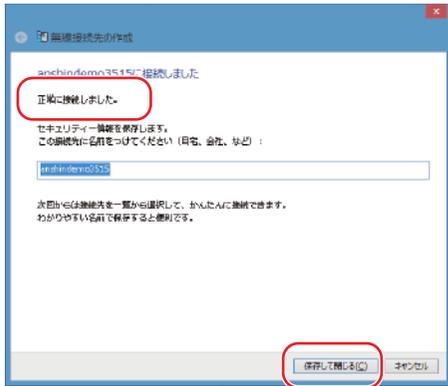
⑦納品時同梱している
「ネットワーク設定表 (※1)」を
参照し該当する「SSID」を選択
⇒「次へ」クリック

⑧「セキュリティキーまたはパス
フレーズ」欄に「セキュリティキー (※1)」
を入力
⇒「接続」クリック

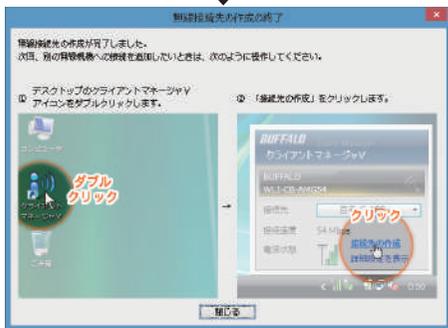
※1…
セキュリティキーは、納品時に当社で予め設定
しております。同梱の「ネットワーク設定表」を
参照し、設定を行って下さい。又、設定表は設置
後でもご覧になれる様大切に保管して下さい。

③無線 LAN- 子機 IP アドレス設定

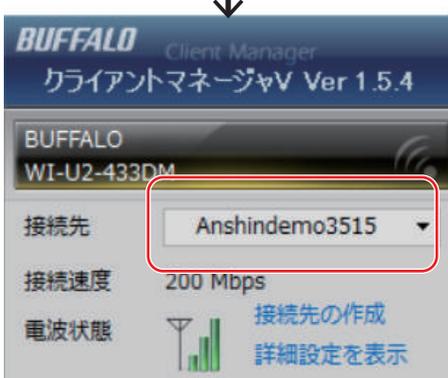
子機の設定が終了しましたら、次にパソコン内の設定を行います。以降の説明に従い設定していきます。



⑨「正常に接続しました」の表示後
⇒「保存して閉じる」クリック



⑩「閉じる」クリック
⇒終了する



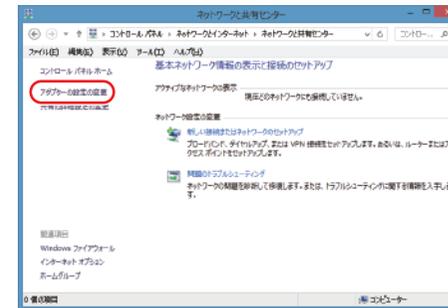
⑪以後、接続先に「安視ん君」の「SSID」
が登録 / 表示される

重要

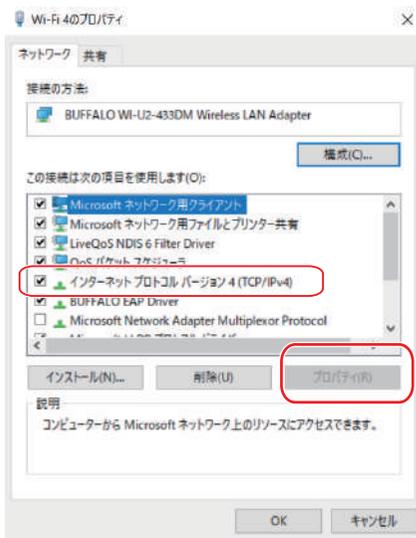
「安視ん君」が複数ある場合は、ここまでの設定を台数分繰り返して、登録して下さい。

Point

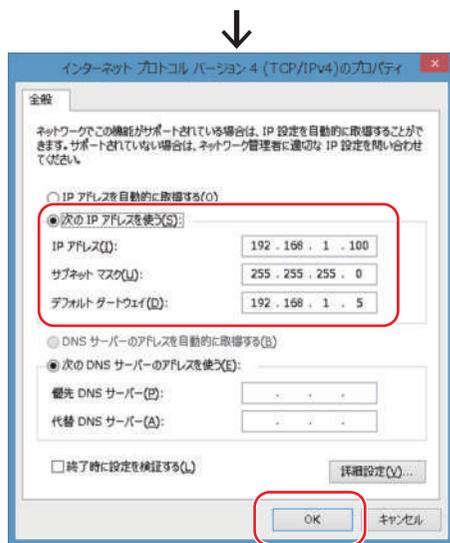
- ①左図に従って
- (スタート)
- ⇒「コントロールパネル」
- ⇒「ネットワークの状態とタスクの表示」
- ⇒「アダプターの設定の変更」
- ⇒今お使いの無線 LAN を選択
- ⇒左クリック
- ⇒「プロパティ」クリック



→次頁へ



- ②左図に従って
「インターネットプロトコルバージョン4 (TCP/IPv4)」を選択
⇒「プロパティ」クリック



- ③「次の IP アドレスを使う」チェック
⇒「IP アドレス」「サブネットマスク」「デフォルトゲートウェイ」を入力
⇒「OK」クリック
⇒IP アドレス設定終了

重要 「デフォルトゲートウェイ」には、DST-IIの IP アドレスと同じ数値を入力して下さい。(別冊 DST-II 取扱説明書 P.12 参照)

補足

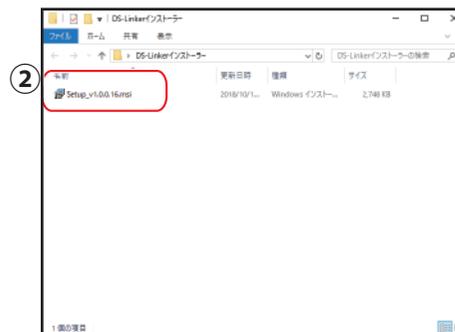
IP アドレス : 192.168.1.XXX
(XXX = 任意の数字 2 ~ 254) ※但し「5」を除く

サブネットマスク : 255.255.255.0

デフォルトゲートウェイ : 192.168.1.5 ※DST-II 接続用に使用

■SD カードアクセス専用ソフト「DS-Linker」設定 (無線 LAN 型のみ)

「DS-Linker」は、SD カード内の映像データを閲覧する際に使用するアプリケーションです。パソコンと安視ん君内の SD カードを結びつける役割を担います。以後の説明に従い、運用時使用するパソコンにインストールして下さい。



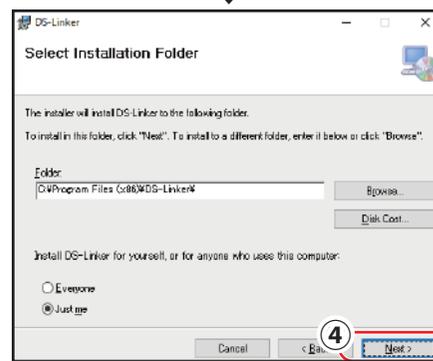
- ①パソコンに付属の CD をセット

- ②左図に従い
「DS-Linker インストーラー」
⇒「 Setup_v1.0.0.XX.msi」
クリック

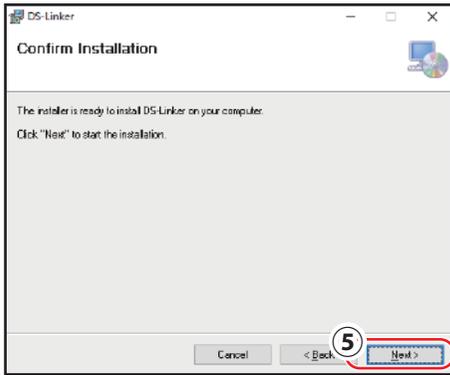


- ③設定インストーラーが起動

- ④左図に従ってインストールを開始
⇒「Next」
⇒「Next」



→次頁へ



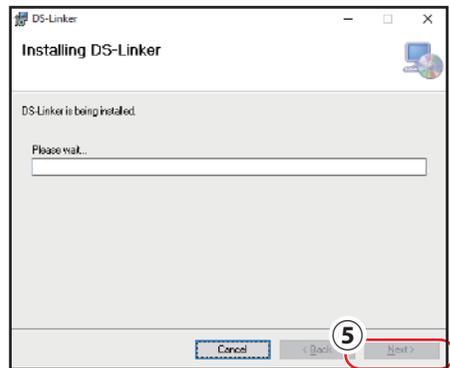
⑤左図に従って

⇒「Next」

⇒「Next」

(読み込みに多少時間がかかります)

⇒「Close」

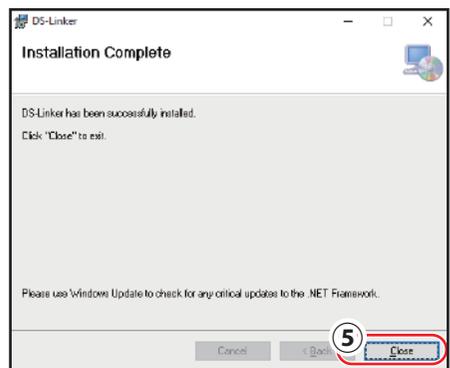


⑥インストール完了

⇒デスクトップ上アイコンが自動

作成される

名称「DS-Linker」



8. レコーダーシステムについて

■ 画面表示の見方

■ ライブモード



重要 この項目の画面は、現場調整用モニターを接続する事で確認できます。接続する場所は P.9 をご確認ください。

① 日時表示

年 / 月 / 日 時 : 分 : 秒

② Keylock

: ON / 非表示 : OFF

③ インフォメーション

④ 録画マーク

: 録画中 / 非表示 : 非録画

⑤ 録画状態

: 手動録画 : 動作検知録画

: 予約録画

⑥ ビデオ信号

: 信号有 / 非表示 : 信号無し

⑦ 録画解像度

録画の解像度

: 100 万画素

: 200 万画素

⑧ 録画画質

: Basic / : Normal / : High

⑨ 録音マーク^{※1}

: 録音 : 非録音

⑩ SD カード実装

: SD カード実装
 : SD カード未実装又は認識不良

⑪ 上書き保存

: ON / 非表示 : OFF

⑫ 電源供給

⑬ GPS マーク

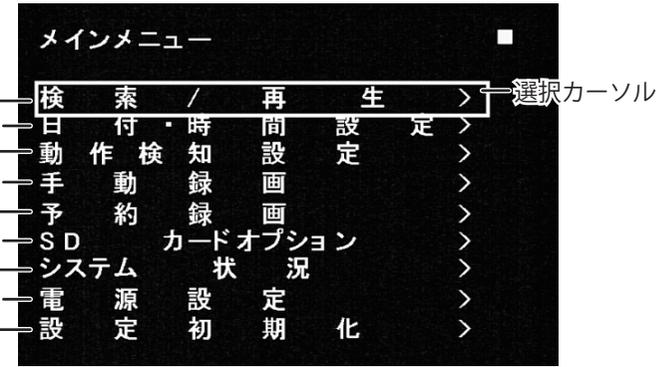
: GPS 正常受信状態
 : GPS 接続中 (受信準備中)
 : GPS 非受信状態

※1…安視ん君に録音機能はありません

■ インフォメーション表示

SD が準備できてません : SD カードがレコーダーに挿入されていない状態
SD アクセス失敗 : レコーダーが SD カード読み込みに失敗した状態
SD カード異常 : SD カードに何かしらの異常・故障がある状態
SD カードフル : SD カードの容量が最大限使用された状態 (上書き保存の設定になっていない)
エンコードエラー : 録画中に停止をせず SD カードを抜き挿し又は電源の入切後、正常に録画が再開されない状態
ID エラー : キーロック時に解除コマンド以外のボタンを押した状態

■ メインメニュー



Point



【メインメニュー表示方法】

キーロックを解除 ((OPT) → (▲) → (CAM)) ⇒ (Enter) キー

(▲) (▼) で選択カーソルを移動 ⇒ 各項目を (Enter) キーで選択

① 検索 / 再生

録画映像の検索 / 再生を行います

② 日付・時間設定

日付・時間の設定を行います

③ 動作検知設定

動作検知の感度や範囲を設定します

④ 手動録画

手動録画での解像度・FPSなどを設定します

⑤ 予約録画

予約 / 動作検知録画での解像度・FPSなどを設定します

⑥ SD カードオプション

上書き保存の設定やSDカードをフォーマットします

⑦ システム状況

各種設定を一覧できます

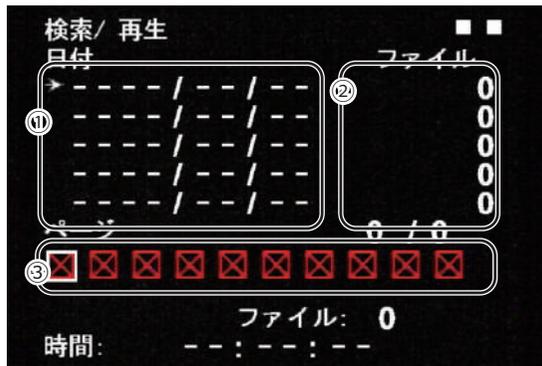
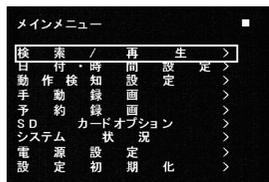
⑧ 電源設定

言語設定・パスワード設定などを設定します

⑨ 設定初期化

日時以外の設定を初期状態に戻します

1 検索 / 再生



Point ▲▼で選択カーソルを移動⇒「検索 / 再生」をEnter キーで選択

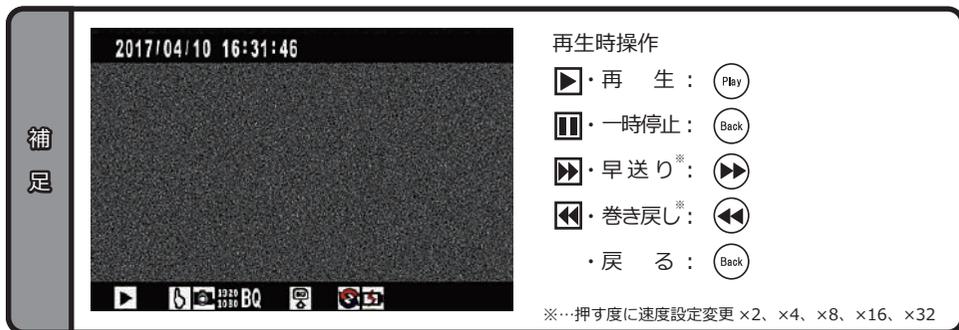
- ①日付：録画した日付を表示します
- ②ファイル：日付毎に録画しているファイル数を表示します
- ③録画方法：手動 / 予約 / 動体検知で録画したマークを表示します



Point

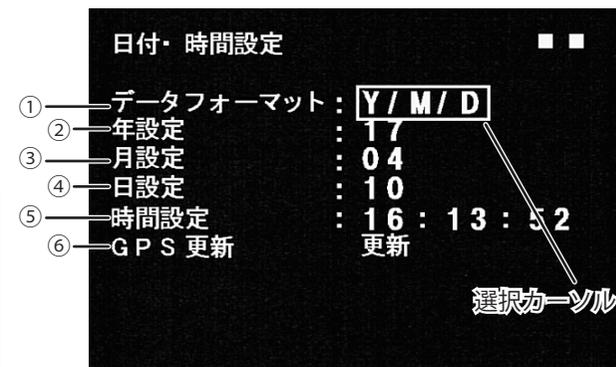
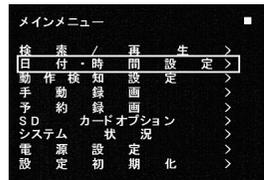
■目的の録画データを再生する場合

▲▼で ①エリア内 ▶移動⇒ ◀▶で③エリア内移動⇒Enter 選択



※…押す度に速度設定変更 ×2、×4、×8、×16、×32

2 日付・時間設定

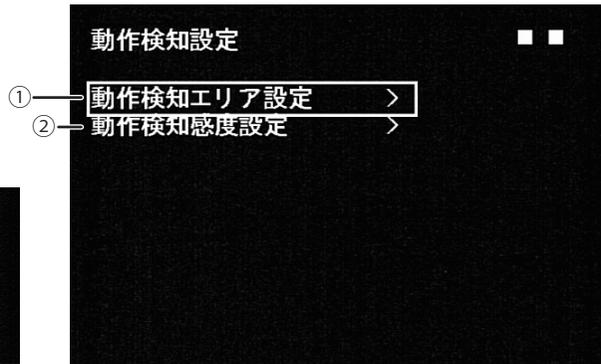
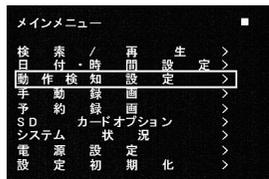


Point ▲▼で選択カーソルを移動⇒「日付・時間設定」をEnter キーで選択

- ①データフォーマット：Y/M/D・D/M/Y・M/D/Y
年(Y)月(M)日(D)を表示する順番を変更します
- ②年設定
年数を設定します ex:16⇒2016年
- ③月設定
月数を設定します
- ④日設定
日数を設定します
- ⑤時間設定
時間を設定します(※1)
- ⑥GPS更新
更新すると数秒後、時刻を自動補正します(※2)

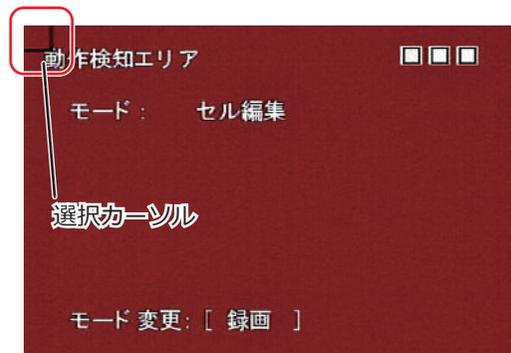
※1…②～⑤の値を変更をすると、自動的に「秒」の値が「0」になります
※2…GPSの電波を受信している時のみ有効です

3 動作検知設定



Point ▲▼で選択カーソルを移動→「動作検知設定」をⓂキーで選択

- ①動作検知エリア設定：動作検知のエリアを設定します
- ②動作検知感度設定：動作検知の感度を設定します



3-①動作検知エリア設定
【モード変更】
セル編集 / ブロック消去 / ブロック追加 / 全て消去 / 全て追加

Point
Ⓜキー⇒押す度にモード変更

Point
セル編集

- マス1づつ変更をする：▲▼◀▶キーで選択⇒Ⓜ決定
- ブロック消去・ブロック追加
一度に広範囲の変更設定を行う：Ⓜキー⇒▲▼◀▶キーで選択⇒Ⓜ決定
- 全て消去・全て追加
画面上全ての消去・追加を行う：Ⓜ決定

重要 動作検知録画を使用する場合のみ設定して下さい。基本的には変更は不要です。

3-②動作検知感度設定



Point

感度の増減を調節：◀▶

感度：敏 ← → 感度：鈍

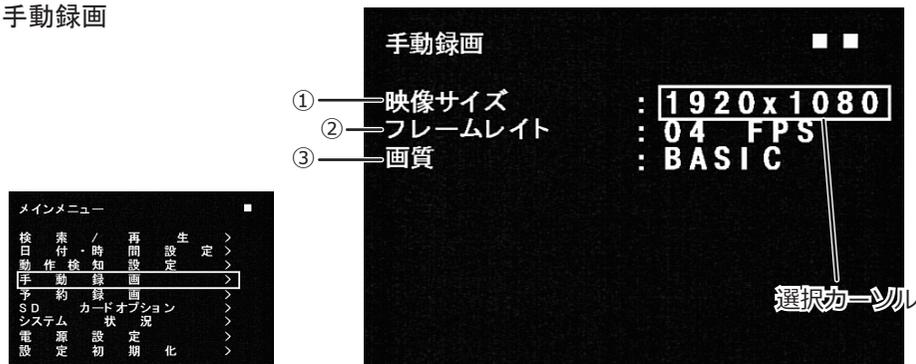
※右に行く程、速いスピードの物に反応し難くなります

補足

- モーションエネルギー
動作検知した際の検知状態がパラメータとして変動表示します
- 画面表示
通常、青味がかかった画面表示だが、動作検知した際はセル毎に赤く変化する

重要 動作検知録画を使用する場合のみ設定して下さい。基本的には変更は不要です。

4 手動録画



Point で選択カーソルを移動⇒「手動録画」を キーで選択

①映像サイズ：1280×720（100万画素）/1920×1080（200万画素）

映像（画像）サイズを設定します

②フレームレート

100万画素：1/2/3/4/5/6/7/8/9/10/15/20/30

200万画素：1/2/3/4/5/6/7/8/9/10/15/18/20

録画コマ数を設定します

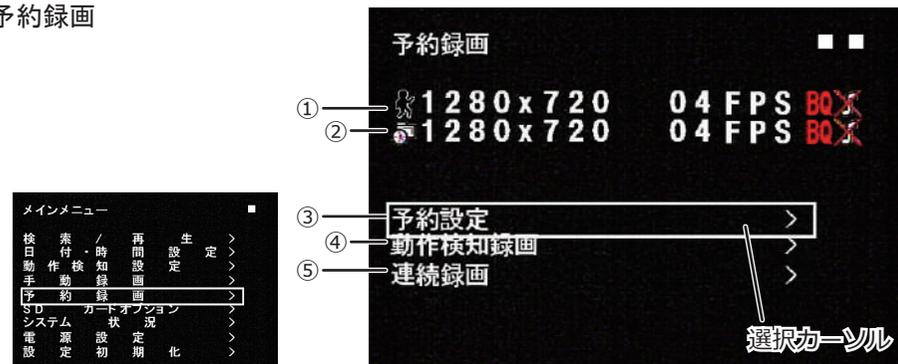
③画質：Basic/Normal/High

画質を設定します

重要 録画設定を初期設定値から変更すると、7日以上録画が出来なくなる場合があります。

録画時間については、P.77「録画時間表」を参照して下さい。

5 予約録画



Point で選択カーソルを移動⇒「手動録画」を キーで選択

①動作検知録画ステータス

動作検知時の録画設定を表示します

②予約録画ステータス

予約録画時の録画設定を表示します

③予約設定

予約時間の設定をします

④動作検知録画

動作検知録画の設定をします

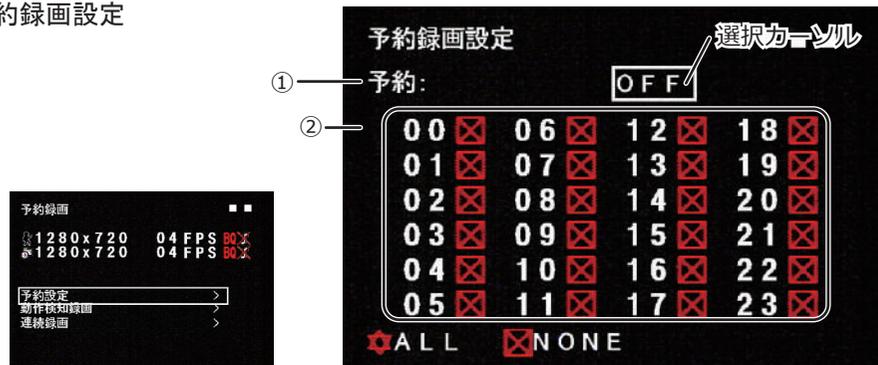
⑤連続録画

予約録画の録画設定をします



重要 予約録画項目は、動作検知録画・連続録画を使用する際のみ設定して下さい。基本的には変更は不要です。

■ 予約録画設定



Point  ▲▼で選択カーソルを移動⇒「予約設定」を  キーで選択

① 予約 : ON/OFF

動作検知録画・連続録画の開始の有無を設定します

② 予約設定画面

1 時間毎の詳細設定を行います

補足

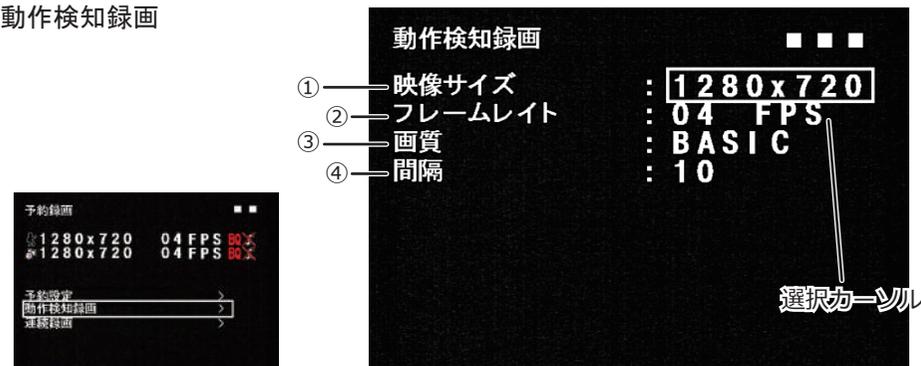
■ マーク

	: 全条件で録画を設定 (※1)		: 動作検知録画
	: 予約録画		: 設定なし

※1…全条件設定を行った場合、優先順位は下記の通りです
マニュアル> 動作検知録画> 予約録画

重要 「予約OFF」時に、予約録画設定画面にて各時間の録画設定を行っても有効にはなりません。有効にする場合は予約を「ON」にして下さい。

■ 動作検知録画



Point  ▲▼で選択カーソルを移動⇒「動作検知録画」を  キーで選択

① 映像サイズ : 1280×720 (100 万画素) / 1920×1080 (200 万画素)

映像 (画像) サイズを設定します

② フレームレート

100 万画素 : 1/2/3/4/5/6/7/8/9/10/15/20/30

200 万画素 : 1/2/3/4/5/6/7/8/9/10/15/18/20

録画コマ数を設定します

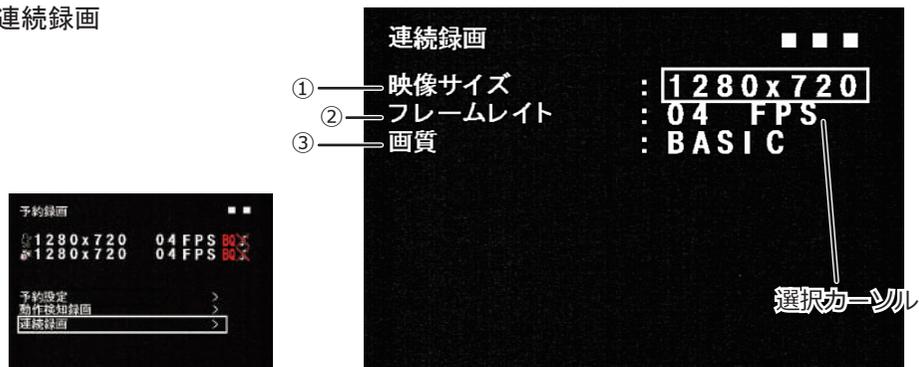
③ 画質 : Basic/Normal/High

画質を設定します

④ 間隔 : 5/10/15/20/…90 (5 秒間隔)

動作検知後の録画時間 (秒) を設定します

■連続録画



Point ▲▼で選択カーソルを移動⇒「動作検知録画」を (Enter) キーで選択

①映像サイズ：1280×720（100万画素）/1920×1080（200万画素）

映像（画像）サイズを設定します

②フレームレート

100万画素：1/2/3/4/5/6/7/8/9/10/15/20/30

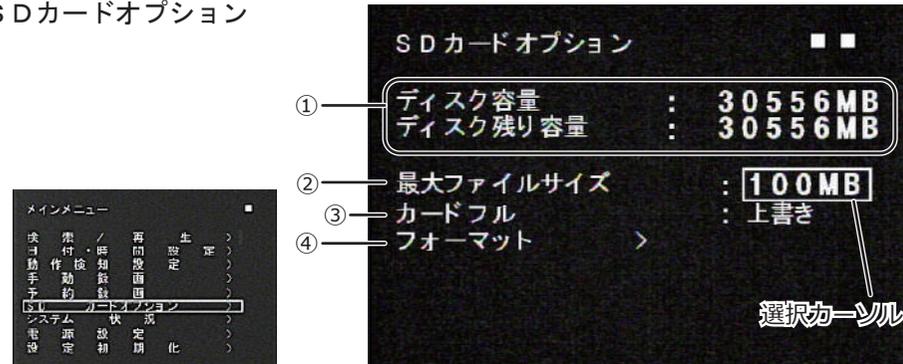
200万画素：1/2/3/4/5/6/7/8/9/10/15/18/20

録画コマ数を設定します

③画質：Basic/Normal/High

画質を設定します

⑥SDカードオプション



Point ▲▼で選択カーソルを移動
⇒「SDカードオプション」を (Enter) キーで選択

①ディスク容量 / ディスク残り容量

SDカードの容量を表示します

②最大ファイルサイズ：3/10/20/50/100（MB）

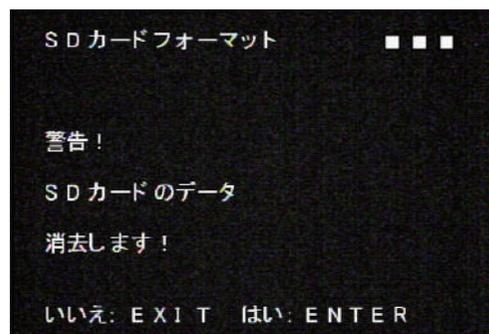
録画時の1ファイルあたりの最大容量を設定します

③カードフル：上書き / 停止

上書き保存の可否を設定します

④フォーマット

SDカードをフォーマットします



重要

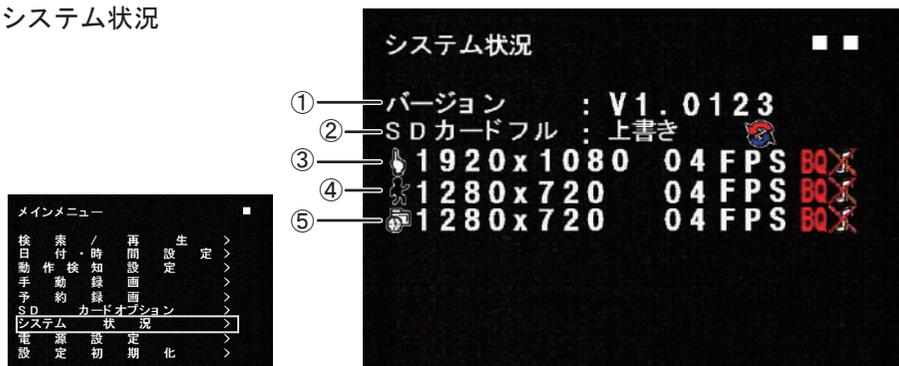
フォーマットすると、SDカード内のデータが全て消去されます

Point

(Enter)：フォーマットする

(Back)：フォーマットしない（戻る）

7 システム状況



Point ▲▼で選択カーソルを移動⇒「システム状況」を **Enter** キーで選択

①バージョン

バージョン情報*を表示します

②SDカードフル

「SDカードオプション」(P.61) で設定したステータスが表示されます

③手動録画表示

「手動録画」(P.56) で設定したステータスが表示されます

④動作検知録画表示

「動作検知録画」(P.59) で設定したステータスが表示されます

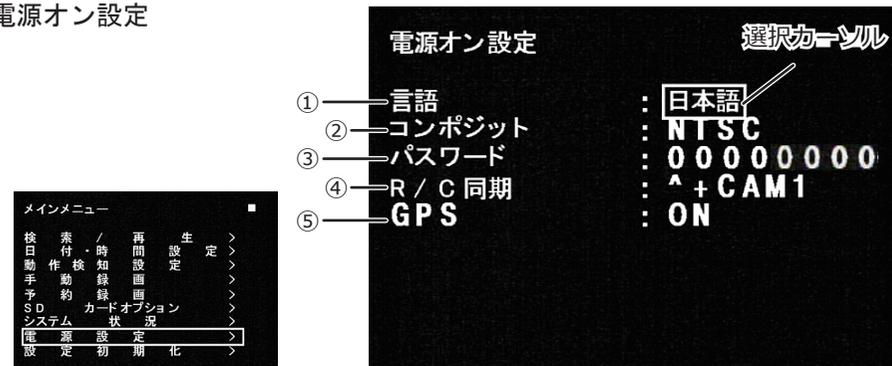
⑤連続録画表示

「連続録画」(P.60) で設定したステータスが表示されます

重要 ステータスを表示する項目の為、操作は出来ません。設定を変更する場合は各項目で設定して下さい。

※…画面のバージョンは、2017年4月現在のものです。実際の出荷物と異なる場合があります。

8 電源オン設定



Point ▲▼で選択カーソルを移動⇒「電源設定」を **Enter** キーで選択

①言語：日本語 / ENGLISH / 中文
表示する言語を変更します

②コンポジット：NTSC / PAL
カメラの入力設定を変更します

③パスワード
データ再生時のパスワードを設定します
8桁のパスワードを設定します

④R/C同期
キーロック用コマンドの設定をします

⑤GPS
GPS使用の有無を設定をします

パスワード及び
キーロックコマンド記入欄 → P.23

■パスワード設定
OFF：00000000
ON：任意の8桁数字
パスワード機能をONにすると
専用の解除ソフトが必要になります

Point ▲▼：桁横移動
◀▶：任意の数字に変更

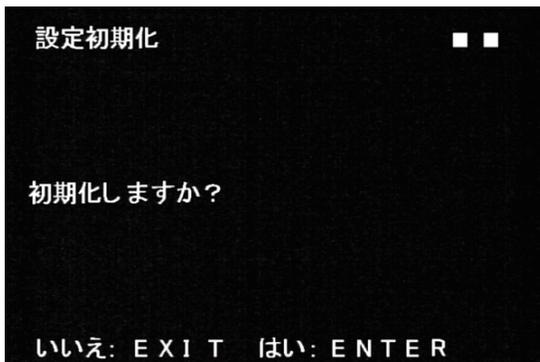
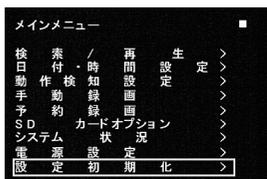
■R/C同期：コマンド表（一部） ^+CAM1 (OPT) → (▲) → (CAM1)

重要 コマンドは数種の設定が可能です。セキュリティ上全てを記載する事が出来ません。ご了承下さい。コマンドを変更したい場合は各営業担当までご連絡下さい。

重要 「コンポジット」設定を「NTSC」から変更しないで下さい。正しく作動しない恐れがあります。

重要 パスワードとキーロックコマンドは初期設定のまま運用しないで下さい。その際の設定は必ず他に漏れない様各自で管理して下さい。又、パスワードは第三者が安易に分かる物にしないで下さい。

9 設定初期化



Point ▲▼で選択カーソルを移動⇒「設定初期化」を キーで選択

①いいえ:

初期化をキャンセルします

②はい:

日時以外の設定を初期化します

▼リセットによる初期化時の設定

日付・時間設定	データフォーマット	Y/M/D
	年設定	該当日
	月設定	
	日設定	
動作検知エリア	モード	セル編集
	エリア	全て
モーション感度	動作検知基準	3
予約録画設定		OFF
手動録画	フレームサイズ	1280×720
	フレームレイト	04FPS
	画質	BASIC
動作検知録画	フレームサイズ	1280×720
	フレームレイト	04FPS
	画質	BASIC
	間隔	10
連続録画	フレームサイズ	1280×720
	フレームレイト	04FPS
	画質	BASIC
SDカードオプション	最大ファイルサイズ	20
	カードフル	上書き
電源設定	言語	日本語
	コンボジット	NTSC
	パスワード	00000000 (8桁)
	GPS	ON

重要

右表は、「②はい」を選択しリセットした際の設定内容です。

リセットを行う場合、運用に設定した項目も初期化され、適した状態ではなくなる可能性があります。

誤ってリセットを行った場合は、レコーダーシステム出荷時設定内容(P.65)を参考に、各項目を設定し直して下さい。

レコーダーシステム設定時の注意点

録画中はレコーダーシステムのメニューを開く事は出来ません。必ず、録画を停止してご利用下さい。

レコーダーシステム プロテック出荷時設定内容

日付・時間設定	データフォーマット	Y/M/D	
	年設定	該当日	
	月設定		
	日設定		
動作検知エリア	モード	セル編集	
	エリア	全て	
モーション感度	動作検知基準	3	
予約録画設定		OFF	
手動録画		64GB 使用時	128GB 使用時
	フレームサイズ	1280×720	1920×1080
	フレームレイト	04FPS	04FPS
	画質	BASIC	BASIC
動作検知録画	フレームサイズ	1280×720	1280×720
	フレームレイト	04FPS	04FPS
	画質	BASIC	BASIC
	間隔	10	10
連続録画	フレームサイズ	1280×720	1280×720
	フレームレイト	04FPS	04FPS
	画質	BASIC	BASIC
SDカードオプション	最大ファイルサイズ	20	
	カードフル	上書き	
電源設定	言語	日本語	
	コンボジット	NTSC	
	パスワード	00000000 (8桁)	
	GPS	ON	

9. カメラシステムについて

■カメラシステムの設定について

カメラシステムは、予め運用に適した状態で設定を行っております。各項目が各々の詳細設定に影響し合っている為、1つ変更する事で大きく変化し、適切な運用を妨げる事となります。

その為、操作手順が記載されていない項目に関しては、設定変更をご遠慮願います。又、推奨しない設定変更によって生じたトラブルは当社サポート外とさせていただきますので、予めご了承下さい。

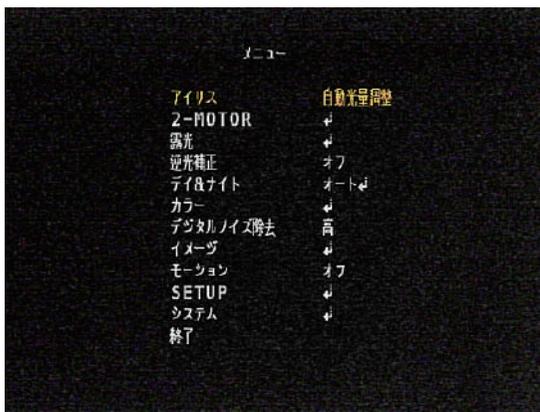
重要 推奨する設定以外で運用をすると、予期せぬ事象が起こる場合があります。

設定を誤って変更した場合は、P.69の「出荷時設定内容」を参考に設定を修正して下さい。

重要 この項目の画面は、現場調整用モニターを接続する事で確認できます。接続する場所はP.9をご確認下さい。

■画面表示の見方

■メインメニュー



Point メインメニュー表示方法
録画停止中⇒ **OSD** キー⇒録画表示バーが消える⇒ **Enter** キー

■メインメニュー



Point



■基本操作（全項目共通）

◀▶: モード設定変更 ▲▼: 項目選択 Enter: 決定

▲▼で選択カーソル(文字色/黄色)を移動

⇒各項目を Enter キーで選択

- ①アイリス
: 自動光量調整 / 電子光量調整
オートアイリスの設定を行います
- ②2-MOTOR
フォーカスアシストレンズの設定を行います
- ③露光
カメラの明るさを設定を行います
- ④逆光補正
: オフ / ハイライト補正 / WDR
逆光補正の設定を行います
- ⑤デイ&ナイト
: オート / カラー / モノクロ / 外部
デイナイトの設定を行います
- ⑥カラー
ホワイトバランスの設定を行います
- ⑦デジタルノイズ除去
: オフ / 低 / 中 / 高電源設定
デジタルノイズ除去の設定を行います
- ⑧イメージ
出力映像の設定を行います
- ⑨モーション: オン / オフ
動体検知の設定を行います
- ⑩SETUP
カメラシステムの状況を確認します
- ⑪システム
カメラシステムの設定を行います
- ⑫終了
設定を保存して終了します



■2-MOTOR

「メニュー」⇒「2-MOTOR」⇒Enter

①AF MODE (オート/マニュアル)

: オートフォーカス機能の設定を変更します

②SCANNING (HALF/FULL)

: ピント調整時の稼動範囲を設定します

③LENSCTRL (ボタン/PELCO)

: レンズコントロールの設定を変更します

④ONEPUSHAF (オン【長押し】)

: ①～③の設定を受け現在の画角で再度ピント調整を開始します

⑤SYNC TDN (オン/オフ)

: 白黒 / カラーの切替時と電源投入時に都度ピント調整を開始するか否かの設定を行います。オンの場合、ピント調整を行います。オフの場合、ピント調整を行いません。

⑥INITIAL (オン【長押し】)

: 現在の画角で再度ピント調整を開始します

■露光

「メニュー」⇒「露光」⇒Enter

①明るさ (0 ~ 20) : 画面の明るさを設定します

②シャッタースピード (オート/マニュアル/Flickerless)

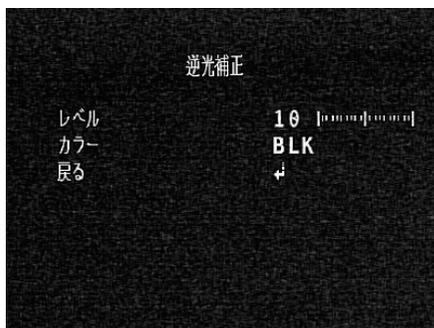
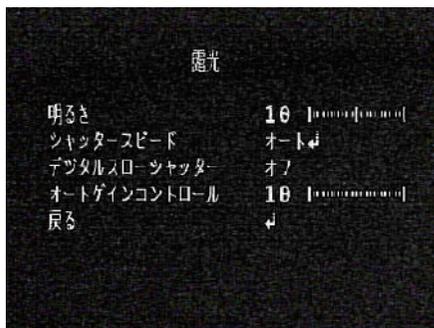
: シャッタースピードを変更します

③デジタルスローシャッター (オフ/×2 ~ ×32)

: 電子増感を変更します

④オートゲインコントロール (0 ~ 10)

: オートゲインコントロールを設定します



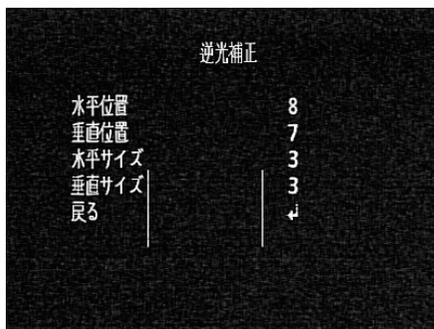
■逆光補正 (ハイライト補正)

「メニュー」⇒「逆光補正」⇒▶▶⇒「ハイライト補正」⇒Enter

①レベル (0 ~ 20) : ハイライトのレベルを設定します

②カラー (BLK/WHT/YEL/CYN/GRN/MAG/RED/BLU)

: ハイライトで補正した箇所の代替色の設定をします



■逆光補正 (バックライト補正)

「メニュー」⇒「逆光補正」⇒▶▶⇒「バックライト補正」⇒Enter

①位置指定 : バックライト補正の基準となる位置を設定します

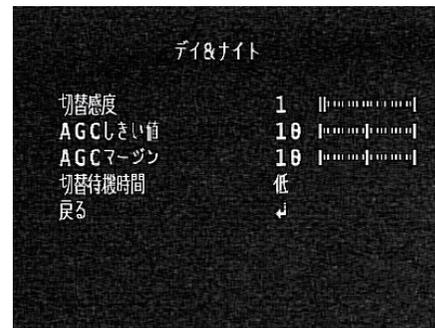


■逆光補正 (WDR-ワイドダイナミックレンジ)

「メニュー」⇒「逆光補正」⇒▶▶⇒「WDR」⇒Enter

①レベル (低/中/高)

: ワイドダイナミックレンジのレベル調整を行います



■デイ&ナイト (オート)

「メニュー」⇒「デイ&ナイト」⇒「オート」⇒Enter

①切替感度 (0 ~ 20) : 自動切替の感度設定を行います

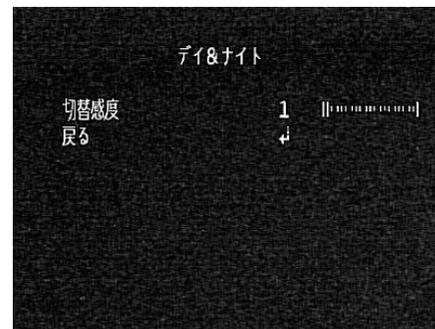
②AGC しきい値 (0 ~ 20)

: 画面の明るさを一定に保つ設定を行います

③AGC マージン (0 ~ 20) : マージンの設定を行います

④切替待機時間 (低/中/高)

: 切替待機時間頻度の設定をします



■デイ&ナイト (モノクロ)

「メニュー」⇒「デイ&ナイト」⇒「モノクロ」⇒Enter

①切替感度 (0 ~ 20)

: 自動切替の感度設定を行います



■デイ&ナイト (外部)

「メニュー」⇒「デイ&ナイト」⇒「外部」⇒Enter

①切替感度 (0 ~ 20)

: 自動切替の感度設定を行います

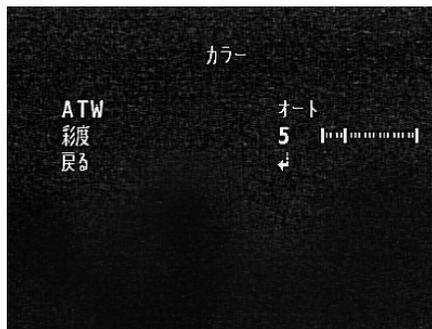
②EXTERN S/W (低/高)

: 外部入力の入切の設定を行います

③切替待機時間 (低/中/高)

: 切替待機時間の設定を行います

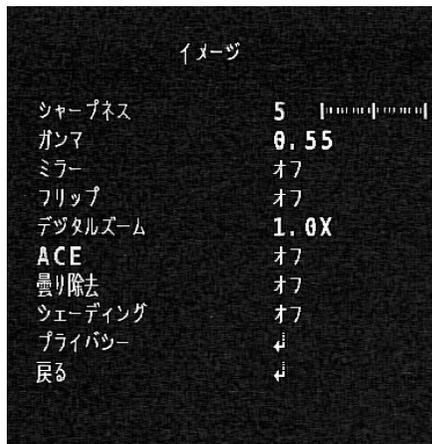
※この頁に記載されている内容は、基本変更する必要のない項目です



■カラー

「メニュー」⇒「カラー」⇒Enter

- ①ATW (オート / オート2 / ワンブッシュ (長押し) / マニュアル)
: ホワイトバランスの設定を変更します
- ②彩度 (0 ~ 20)
: 色の鮮やかさを設定します



■イメージ

「メニュー」⇒「イメージ」⇒Enter

- ①シャープネス (0 ~ 10): 被写体の輪郭の鮮明さを設定します
- ②ガンマ (0.45 ~ 0.75)
: モニターの色合いを設定します
- ③ミラー (オン / オフ): 垂直方向に反転します
- ④フリップ (オン / オフ): 水平方向に反転します
- ⑤デジタルズーム (1.0x ~ 16.0x)
: デジタルズームの設定を行います
- ⑥ACE (オフ / 低 / 中 / 高)
: 暗所の明暗を設定します
- ⑦曇り除去 (オン / オフ)
: 曇り除去の設定をします
- ⑧シェーディング (オフ / 0 ~ 100%)
: センサの欠陥ビットの表示を設定します
- ⑨プライバシー: プライバートマスクの設定を行います (詳細 P.72)

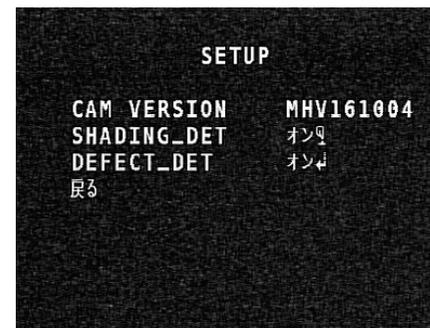


■モーション (オン)

「メニュー」⇒「モーション」⇒「オン」⇒Enter

- ①DET WINDOW:
: 動体検知の感度を設定します
- ②感度 (0 ~ 10)
: 検知対象を赤枠で囲う設定をします
- ③MOTION OSD (オン / オフ)
: 検知した際に文字で表示する設定をします
- ④TEXT ALARM (オン / オフ)
: 検知した際に外部へ出力する設定をします (安視ん君® に外部出力機能はありません)
- ⑤SIGNAL OUT (オン / オフ)
: 検知した際に外部へ出力する設定をします (安視ん君® に外部出力機能はありません)

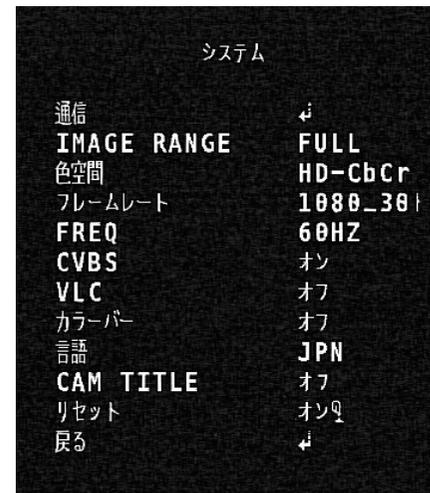
※動体検知機能を使用したい場合は、レコーダシステム側の機能をご利用下さい



■SETUP

「メニュー」⇒「SETUP」⇒Enter

- ①CAM VERSINO
: カメラのシステムバージョンを表示します
- ②SHADING_DET (オン【長押し】)
: 全体を白く (明るく) し欠陥ビット検出を行う
- ③DEFECT_DET (オン)
: 全体を黒く (暗く) し欠陥ビット検出を行う



■システム

「メニュー」⇒「システム」⇒Enter

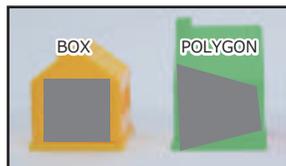
- ①通信 (カメラID [0 ~ 255] / ポーレート [2400 ~ 115200])
: 伝送速度を変更します
- ②IMAGE RANGE (FULL/COMP/USER)
: 画面の自動調整設定を行います
- ③色空間 (HD-CbCr/YUV/SD-CbCr)
: カメラからの信号を設定します
- ④フレームレート (1080_30P/720_25P)
: フレームレートを変更します
- ⑤FREQ (60Hz/50Hz)
: 周波数を設定します
- ⑥CVBS (オン / オフ)
: コンボジットを設定します
- ⑦VLC (オン / オフ)
: VLC を設定します
- ⑧カラーバー (オン / オフ)
: カラーバーの表示を設定します
- ⑨言語 (JPN/ENG/CHN/CHN(S)): 表示する言語を変更します
- ⑩CAM TITLE (オン / オフ)
: カメラに名づける設定をします (アルファベット + 数字で 8 文字 設定可能)
- ⑪リセット (オン【長押し】): 設定を初期化します (リセット時設定の詳細 P.73)



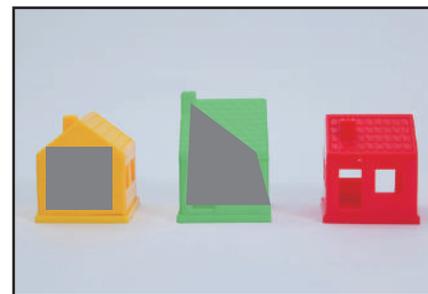
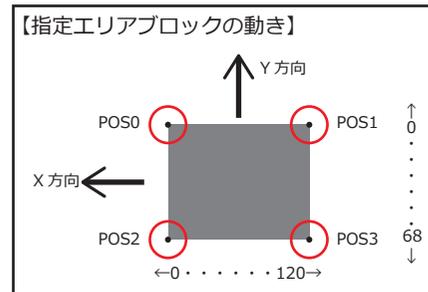
■プライバシー

「メニュー」⇒「イメージ」⇒(▼)⇒「プライバシー」⇒(Enter)

- ①BOX (オン/オフ)
: 形状固定のプライベートマスク (16 ケ) の設定を行います
- ②POLYGON (オン/オフ)
: 形状変更可のプライベートマスク (8 ケ) の設定を行います



※「BOX」は四角ブロックの拡大縮小と位置の変更が可能
「POLYGON」は上記に加え、各頂点を個別に位置変更する事で台形などの形状に変更が出来ます



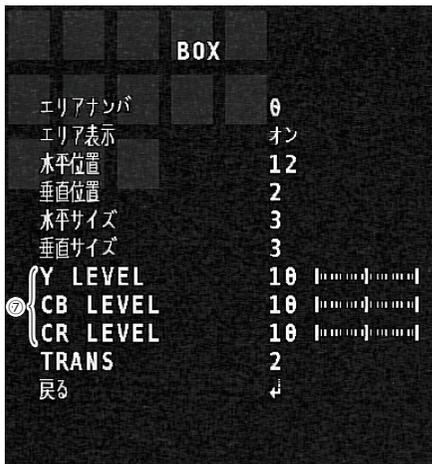
■プライバシー (POLYGON)

(▲)(▼): 項目選択 (◀)(▶): 数字変更

左図を目安に、指定エリアブロックの形状を変更できます

【プライバシー (プライベートマスク) について】

モニターで確認しながら、指定したいエリアに重なる様に移動します。
適宜拡大縮小、及び POLYGON 機能の変形を用い、設置地域に適した設定を行って下さい。



■プライバシー (BOX)

「メニュー」⇒「イメージ」⇒(▼)⇒「プライバシー」⇒「BOX」⇒「オン」⇒(Enter)
※画面左上にブロックが表示 (16 ケ)

- ①エリアナンバ (0~15)
: 指定エリアブロックの番号を選択します
- ②エリア表示 (オン/オフ)
: 指定エリアブロックを番号毎に適用するかどうかを設定します
- ③水平位置 (0~60): ブロックの横方向の位置を設定します
- ④垂直位置 (0~34): ブロックの縦方向の位置を設定します
- ⑤水平サイズ (0~60): ブロックの横幅の大きさを設定します
- ⑥垂直サイズ (0~34): ブロックの縦幅の大きさを設定します
- ⑦Y LEVEL/CB LEVEL/CR LEVEL (0~20)
: 指定エリアブロックのカラーを変更します
- ⑧TRANS (0~3): ブロックの透過値を設定します



左: TRANS (0) 右: TRANS (3)

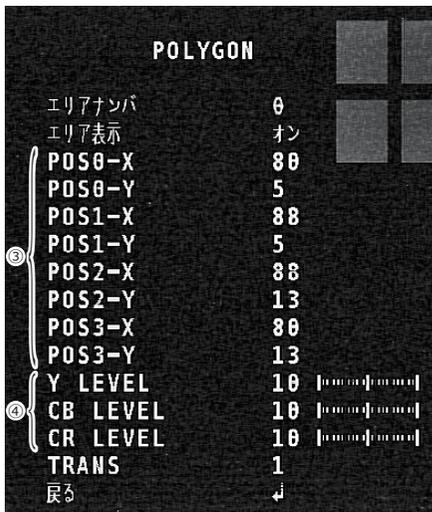
■プライバシー (POLYGON)

「メニュー」⇒「イメージ」⇒(▼)⇒「プライバシー」⇒「POLYGON」⇒「オン」⇒(Enter)
※画面右上にブロックが表示 (8 ケ)

- ①エリアナンバ (0~7)
: 指定エリアブロックの番号を選択します
- ②エリア表示 (オン/オフ)
: 指定エリアブロックを番号毎に適用するかどうかを設定します
- ③POS0 ~ 3-X/Y (詳細 P.68)
: 指定エリアブロックの頂点を個別に設定します
- ④Y LEVEL/CB LEVEL/CR LEVEL (0~20)
: 指定エリアブロックのカラーを変更します
- ⑤TRANS (0~3): ブロックの透過値を設定します



左: TRANS (0) 右: TRANS (3)



▼リセットによる初期化時の設定

アイリス		自動光量調整	
2-MOTOR	AF MODE	オート	
	SCANNING	HALF	
	LENSCTRL	ボタン	
	ONEPUSHAF	オン (長押し)	
	SYNC TDN	オフ	
	INITIAL	オン (長押し)	
露光		明るさ	10
		シャッタースピード	オート
		デジタルスローシャッター	オフ
		オートゲインコントロール	10
逆補正		オフ	
デイ&ナイト	モード	オート	
	切替感度	1	
	AGC しきい値	10	
	AGC マージン	10	
	切替待機時間	低	
カラー	ATW	オート	
	彩度	5	
デジタルノイズ除去	高		
イメージ	シャープネス	5	
	ガンマ	0.55	
	ミラー	オフ	
	フリップ	オフ	
	デジタルズーム	1.0X	
	ACE	オフ	
	曇り除去	オフ	
	シェーディング	オフ	
	プライバシー (BOX/POLYGON)	オフ	
		モーション	オフ
露光		SETUP	CAM VERSION MHV161004
			SHADING_DET オン (長押し)
			DEFECT_DET オン
		システム	通信 -
			IMAGE RANGE FULL
			色空間 HD-CbCr
			フレームレート 1080_30P
			FREQ 60Hz
			CVBS オン
			VLC オフ
			カラーバー オフ
			言語 ENG
			CAM TITLE オフ
			リセット オン (長押し)

重要

右表は、「システム」⇒「リセット」した際の設定内容です。リセットを行う場合、運用に設定した項目も初期化され、適した状態ではなくなる可能性があります。誤ってリセットを行った場合は、カメラシステム出荷時設定内容 (P.74) を参考に、各項目を設定し直して下さい。

■カメラシステム設定時の注意点

録画中はカメラシステムのメニューを開く事は出来ません。必ず、録画を停止してご利用下さい。

■カメラシステム プロテック出荷時設定内容

アイリス	自動光量調整	イメージ	シャープネス	10	
2-MOTOR	AF MODE	オート	ガンマ	0.55	
	SCANNING	FULL	ミラー	オフ	
	LENSCTRL	ボタン	フリップ	オフ	
	ONEPUSHAF	オン(長押し)	デジタルズーム	1.0X	
	SYNC TDN	オフ	ACE	オフ	
	INITIAL	オン(長押し)	曇り除去	オフ	
露光	明るさ	10	シェーディング	オフ	
	シャッタースピード	オート	フライ/シー-(BOX/POLYGON)	オフ	
	デジタルスローシャッター	オフ	モーション	オフ	
	オートゲインコントロール	10	SETUP	CAM VERSION	MHV161004
逆行補正	オフ		SHADING_DET	オン(長押し)	
デイ&ナイト	モード	オート	DEFECT_DET	オン	
	切替感度	1	システム	通信	-
	AGC しきい値	10	IMAGE RANGE	FULL	
	AGC マージン	10	色空間	HD-CbCr	
	切替待機時間	低	フレームレート	1080_30P	
カラー	ATW	オート	FREQ	60Hz	
	彩度	5	CVBS	オン	
デジタルノイズ除去	高	VLC	オフ		
		カラーバー	オフ		
		言語	JPN		
		CAM TITLE	オフ		
		リセット	オン(長押し)		

■ファームウェア更新手順

ファームウェアは、常に最新のバージョンに更新しておくこと、より安定してご利用頂けます。

重要 作業の手順に関して、次の通りに必ず行って下さい。それ以外の手順又は作業を省くと故障の原因となります。

①リモコンにてキーロック解除後、録画を停止する。

②六角レンチにて、電源 BOX を開ける。

③12V 電源アダプターの出力ハーネスを抜き、電源を OFF にする。

④既存の SD カードを抜き、予め最新のファームウェア※1 を入れた SD カードを挿入し、上記③で外した 12V 電源アダプターの出力ハーネスを挿入。

⑤ファームウェアの更新が開始される。※2

⑥更新終了すると、映像が出力される。

⑦既存の SD カードに差し替える。※3

⑧再度、12V 電源アダプターの出力ハーネスを抜き差しする。※4

⑨メニューより「システム状況 (P.62)」を開き、バージョン※5 が最新になっている事を確認する。

⑩ **重要** この時点で、録画設定等が初期化される。

⑪「手動録画 (P.56)」「電源オン設定 (P.63)」にて録画設定やパスワードを再設定する。

⑫録画開始を行う。

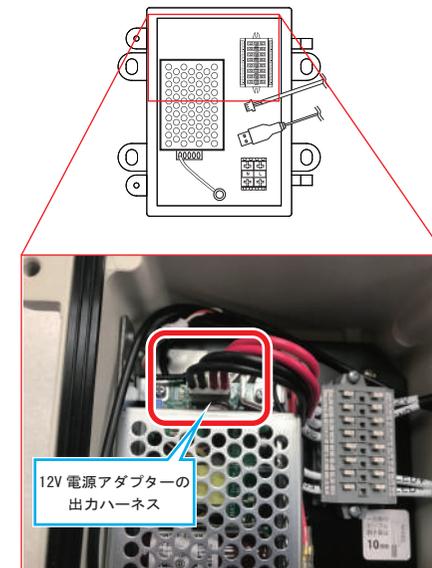
※1…最新のファームウェアについては各営業担当までご相談下さい

※2…更新中はハーネスの抜き差しはしないで下さい

※3…ファームウェアが入った SD カードのまま⑧の工程を行うと、再度ファームウェア更新がスタートします

※4…更新を行う事で動作が不安定になります。その為一度電源の入切を行い動作を安定させます

※5…P.62 上部の図中①にバージョン情報がありません



10. 基本仕様

カメラデバイス	1/3" Megapixel Cmos WDR Sensor(Rolling Shutter) (※1)
画素数	1944×1092 (200万画素)
最低被写体照度	モノクロ:0.0061Lux / カラー:0.069Lux (※2)
レンズ性能	Motorized 2.7~12.0mm / F1.3MAX Wide:91×66° Tele:28×21°
S/N比	51.9 dB
ホワイトバランス	ATW / ワンプッシュ(プリセット) / マニュアル
保存解像度	1080p(1920×1080) / 720p(1280×720)
圧縮方法	H.264
記憶媒体	SDXCカード(128GB標準添付)(※3)
FPS	1,2,3,4,5,6,7,8,9,10,15,20(18),30(20)(※4)
録画モード	手動 / 予約 / 動作検知
時間補正	全地球測位網(GPS) (※5)
供給電源	AC100~240V 50/60Hz
ハウジング形状・性能	ドーム型・IP66
消費電力	24.5W
重量	約8kg
動作環境 温度/湿度	-10℃~50℃ / 80%以下(結露なきこと)(※6)
ファン&ヒーター	ファン ON:40℃ / OFF:30℃ ヒーター ON:5℃ / OFF:15℃
機能	OSD Sens-up(×32) AGC ALC/AES XDR デイ&ナイト DNR プライベートマスク(24箇所) 逆光補正 フリッカレス補正 WDR
その他機能	明るさ調整(0~20) 輪郭補正(0~10) ガンマ値(4段階) カラーゲイン(0~20) デジタルズーム(×16)
セキュリティ機能	バンドルカバー KeyLock 八万ロック パスワードによる録画データ保護(無断閲覧防止機能)
異常表示	トラブルLED表示 外部機器接続用接点付(※7)
使用可能構成	SDXCカード(別表参照)
構成(貸与品)	告知板(※8)

録画データ抽出BOX

寸法	74×130×64(mm)
形状・性能	屋外防滴ボックス・カギ付
その他	録画データ抜取用端子付

※SUS製もあります(寸法150×200×120mm・IP65)(別売)

無線LAN仕様 (無線LAN型のみ)

対応規格	IEEE802.11ac/b/g/n
チャンネル数	100~140ch(8ch)
伝達速度(※)	IEEE802.11ac :最大867Mbps
対応OS	Windows8 (32bit/64bit) Windows10 (32bit/64bit) Windows8.1 (32bit/64bit)
セキュリティ	WPA2-PSK(AES) SSID

※表示数値は、無線LAN規格の理論上の最大値であり、実際のデータ転送速度を示すものではありません

SDXCカード 使用品番一覧

256GB	ADATA社製:IDC3B-256GT
128GB	パナソニック社製:RP-SDUE12SWA
	ハギワラソリューションズ社製:NSDB-128GK
	トランセンド社製:TS128GSXC9173Y15U3
64GB	パナソニック社製:RP-SDHE64SWD

(※1) ローリングシャッター方式の防犯カメラには、速く動く被写体を撮影した場合大きく歪み実際とは大きく異なる画像が出力される可能性があります

(※2) SENSE UP OFF時 (※3) 128GB max SDXCは消耗品 交換時期目安:約5年

(※4) FPSの()は1080P設定時のコマ数を表記しています

(※5) 電波状況により補正できない場合があります

(※6) オプション寒冷地仕様(-40℃~50℃) (※7) オプション

(※8) 設置状況に合わせたサイズ・素材の告知板を作製致します

録画時間表

SDXCカード:128GB使用時

FPS	1080 p (1920×1080) 200万画素			720 p (1280×720) 100万画素		
	Basic	Normal	High	Basic	Normal	High
1	446	308	206	878	566	382
2	348	240	152	670	458	286
4	262	162	106	514	316	212
10	154	90	60	308	182	120
15	92	54	34	184	102	70
20(18)	78	44	30	154	88	60
30(20)	72	40	6	100	62	42

SDXCカード:256GB使用時

FPS	1080 p (1920×1080) 200万画素			720 p (1280×720) 100万画素		
	Basic	Normal	High	Basic	Normal	High
1	892	616	412	1756	1132	764
2	696	480	304	1340	916	572
4	524	324	212	1028	632	424
10	308	180	120	616	364	240
15	184	108	68	368	204	140
20(18)	156	88	60	308	176	120
30(20)	144	80	12	200	124	84

※録画時間は目安です。実際の録画時間を保証するものではありません。

■... 1週間(168時間)以上録画出来る設定です

FPSの()は1080P設定時のコマ数を表記しています



PROA108-CB

取扱説明書

発行日（初版 1.01）2017 年 5 月
（1.21 版）2022 年 2 月
発行責任 株式会社プロテック

〒721-0973
広島県福山市南蔵王町 6-18-40
TEL:084-943-6444

- このマニュアルの内容は、改善のため事前連絡なしに変更することがあります。
- このマニュアルに記載されたデータの使用に起因する第三者の特許権およびその他の権利の侵害については、当社はその責を負いません。
- 無断転載を禁じます。
- 落丁、乱丁本は、お取替致します。